

令和 5 年度  
福井県海岸漂着物等実態調査業務委託  
報告書

内外地図株式会社

2023 年 7 月

# 目次

1. 業務概要.....	1
1.1 目的.....	1
1.2 実施期間.....	1
1.3 調査の内容.....	1
2. 海岸漂着物実態調査.....	1
2.1 調査地点.....	1
2.2 調査方法.....	3
2.3 調査実施日.....	9
2.4 気象概況.....	9
2.5 調査結果.....	12
2.5.1 調査前後の写真.....	12
2.5.2 海岸漂着物調査結果.....	15
2.5.3 大分類別の組成.....	22
2.5.4 人工物別の組成.....	25
2.5.5 3分類別の組成.....	28
2.5.6 ペットボトルのキャップ及びペットボトルの国別組成.....	30
2.5.7 浮子（ブイ）の国別組成.....	33
2.6 水晶浜におけるごみの傾向.....	36
3. 過年度調査結果との比較.....	39
3.1 調査結果の比較.....	39
3.1.1 大分類別調査結果の比較.....	41
3.1.2 人工物別調査結果の比較.....	44
3.1.3 3分類別調査結果の比較.....	47
3.1.4 ペットボトルのキャップ、ペットボトル、浮子（ブイ）国別調査結果の比較.....	49
3.1.5 プラ分類別調査結果の比較.....	50
3.2 ヒアリング調査.....	54
3.3 降水量・風速・風向の比較.....	56
3.4 まとめ.....	63

## 1. 業務概要

業務の概要について以下に示す。

### 1.1 目的

県内の1海岸において、長期的に継続して漂着ごみの組成や存在量の実態を把握することを目的とし、発生抑制策等を検討する際の基礎資料とする。

### 1.2 実施期間

令和5年4月1日～令和5年7月31日

### 1.3 調査の内容

福井県内の1海岸において、海岸漂着物の種類ごとの数、数量、表記を調査し、福井県の海岸漂着物の実態を把握する。

## 2. 海岸漂着物実態調査

調査は、令和5年度福井県海岸漂着物等実態調査業務仕様書に従い環境省の「地方公共団体向け漂着ごみ組成調査ガイドライン（令和2年6月 第2版）」（以下、ガイドラインと記述する）に則して実施した。

### 2.1 調査地点

調査は、水晶浜海水浴場（三方郡美浜町）の1海岸で実施した（図2.1-1）。水晶浜海水浴場は、福井県海岸漂着物対策推進計画において特に優先して回収・処分に取り組むべき重点区域に指定されている。

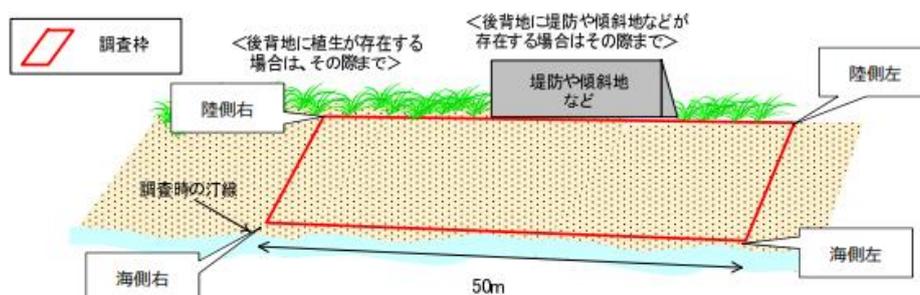
敦賀半島の西側に位置する、南北に長い砂浜海岸であり、海岸には隣接した駐車場がある。



図 2.1-1 調査対象海岸（水晶浜海水浴場（三方郡美浜町））

## 2.2 調査方法

調査範囲は、調査対象海岸内に、漂着物の代表的な状況が把握できるような調査範囲を下図のように設定し、下表の通り海岸線沿いに連続した幅 50m、奥行きは砂浜部と階段状護岸際までの 29m とした。



(環境省「地方公共団体向け漂着ごみ組成調査ガイドライン (令和2年6月 第2版)」より)

海岸名	海岸線長 (m)	砂浜部の奥行き (m)	調査範囲
水晶浜海水浴場 (三方郡美浜町)	50	29	令和4年度 調査実施区画と同一

調査対象としたごみは、ガイドラインに基づき環境省モニタリング調査と同様に長さ 2.5cm 以上のごみとした。

調査範囲内のごみを回収し、環境省「漂着ごみ組成調査データシート (令和3年10月第3版)」漂着ごみの分類表 (表 2.2-1) に従って分類し、個数、重量及び容積を測定して漂着ごみデータシート (表 2.2-2) へ記録した。

言語表記等調査の分類については、環境省「漂着ごみ組成調査データシート (令和3年10月第3版)」の言語表記等調査のデータシート (表 2.2-3) に基づいて分類した。

分類の際、回収したごみが破損等により元の製品の一部のみであった場合、元の製品が推定できる場合は元の製品として分類し、推定出来ない場合は破片として分類した。

表 2.2-1 漂着ごみの分類表

大分類	必須項目	オプション項目	ブラ分類	
プラスチック	ボトルのキャップ、ふた	ボトルのキャップ、ふた	容器包装	
	ボトル<1L	飲料用(ペットボトル)<1L	飲料用(ペットボトル)<1L	容器包装
		その他のプラスチック<1L	その他のプラスチック<1L	容器包装
		飲料用(ペットボトル)≥1L	飲料用(ペットボトル)≥1L	容器包装
		その他のプラスチック類≥1L	その他のプラスチック類≥1L	容器包装
	ストロー	ストロー	製品	
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	製品	
	食品容器(ファーストフード、コップ、ランチボックス、それに類するもの)	コップ、食器		製品
		食品容器		容器包装
	ポリ袋(不透明&透明)	食品の容器包装		容器包装
		レジ袋		容器包装
		その他プラスチック袋		容器包装
	ライター	ライター	製品	
	シリンジ、注射器	シリンジ、注射器	製品	
	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	製品	
	シートや袋の破片	シートや袋の破片	その他	
	硬質プラスチック破片	硬質プラスチック破片	その他	
	ウレタン	ウレタン	その他	
	浮子(ブイ)(漁具)	浮子(ブイ)(漁具)	海域由来	
	ロープ、ひも(漁具)	ロープ、ひも(漁具)	海域由来	
	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	海域由来	
	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	海域由来	
	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	海域由来	
	漁網(漁具)	漁網(漁具)	海域由来	
	その他の漁具(漁具)	釣りのルアー、浮き		海域由来
		かご漁具		海域由来
		釣り糸		海域由来
		その他の漁具		海域由来
	その他	たばこ吸殻(フィルター)		製品
		生活雑貨(歯ブラシ等)		製品
		花火		製品
玩具			製品	
プラスチック梱包材			容器包装	
6パックホルダー			容器包装	
苗木ポット			製品	
分類に無いもので多数見つかった場合には記載			品目による	
その他			品目による	
(発泡スチロール)		コップ、食品容器	食品容器(発泡スチロール)	容器包装
	コップ、食器(発泡スチロール)		製品	
	発泡スチロール製フロート、浮子(ブイ)	発泡スチロール製フロート、浮子(ブイ)	海域由来	
	発泡スチロールの破片	発泡スチロールの破片	その他	
	発泡スチロール製包装材	発泡スチロール製包装材	容器包装	
	その他	分類に無いもので多数見つかった場合には記載		品目による
その他			品目による	

ゴム	ゴム	タイヤ	
		玩具、ボール	
		風船	
		靴(サンダル、靴底含む)	
		ゴムの破片	
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載	
		その他	
ガラス、陶器	ガラス、陶器	建築資材	
		食品容器	
		ガラス、陶器の破片	
		食品以外容器	
		コップ、食器	
		電球	
		蛍光管	
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載	
その他			
金属	金属	ビンのふた、キャップ、ブルタブ	
		アルミの飲料缶	
		スチール製飲料用缶	
		金属製コップ、食器	
		フォーク、ナイフ、スプーン等	
		その他の缶(ガスボンベ、ドラム缶、バケツ等)	
		金属片	
		ワイヤー、針金	
		金属製漁具	
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載	
		その他	
紙、ダンボール	紙、ダンボール	紙製コップ、食器	
		タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)	
		花火	
		紙袋	
		食品包装材	
		紙製容器(飲料用紙パック等)	
		紙片(段ボール、新聞紙等を含む)	
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載	
		その他	
天然繊維、革	天然繊維、革	ロープ、ひも	
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載	
		その他	
木(木材等)	木(木材等)	木材(物流用パレット、木炭等含む)	
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載	
		その他	
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器		
自然物	自然物	灌木(植物片を含む、径10cm未満、長さ1m未満)	
		流木(径10cm以上、長さ1m以上)	
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載	
		その他	
人力で動かせない物			

表 2.2-2 漂着ごみデータシート

漂着ごみ データシート②

都道府県名: \_\_\_\_\_ 調査海岸の奥行き(平均): \_\_\_\_\_ m  
 実施者: \_\_\_\_\_ 海岸基質:  砂浜  礫浜  磯浜  その他( \_\_\_\_\_ )  
 調査海岸: \_\_\_\_\_ 調査地点 中心点: N \_\_\_\_\_ E \_\_\_\_\_  
 調査実施日: \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ~ \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ※小数点第5位まで記載(例: N 35.00000, E 135.00000)  
 回収開始時刻: \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分 清掃:  3ヶ月以内に実施  1年以内に実施  
 回収終了時刻: \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分 台風・豪雨:  1ヶ月以内  3ヶ月以内  
 回収作業人数: \_\_\_\_\_ 人 重機の使用:  無  有 (バックホウ  台、ユニック  台 その他( \_\_\_\_\_ ))  
 奥行き方向の回収範囲:  全範囲  一部範囲 ( \_\_\_\_\_ m)  
 河口付近:  島嶼地域:

大分類	必須項目	オプション項目	個数	容積(L) ※	重量(kg) ※	
プラスチック	ボトルのキャップ、ふた	ボトルのキャップ、ふた				
	ボトル	飲料用(ペットボトル)<1L	飲料用(ペットボトル)<1L			
		その他のプラボトル<1L	その他のプラボトル<1L			
		飲料用(ペットボトル)≥1L	飲料用(ペットボトル)≥1L			
		その他のプラボトル類≥1L	その他のプラボトル類≥1L			
	ストロー	ストロー				
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等				
	食品容器(ファーストフード、コップ、ランチボックス、それに類するもの)	カップ、食器	食品容器			
		食品容器				
	ポリ袋(不透明、透明)	食品の容器包装				
		レジ袋 その他プラスチック袋				
	ライター	ライター				
	シリンジ、注射器	シリンジ、注射器				
	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)				
	シートや袋の破片	シートや袋の破片				
	硬質プラスチック破片	硬質プラスチック破片				
	ウレタン	ウレタン				
	浮子(ブイ)(漁具)	浮子(ブイ)(漁具)				
	ロープ、ひも(漁具)	ロープ、ひも(漁具)				
	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)				
カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)					
カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)					
漁網(漁具)	漁網(漁具)					
その他の漁具(漁具)	釣りのルアー・浮き					
	かご漁具					
	釣り糸					
	その他の漁具(たこ壺)					
その他	たばこ吸殻(フィルター)					
	生活雑貨(歯ブラシ等)					
	花火					
	玩具					
	プラスチック梱包材					
	6バックホルダー					
	苗木ポット					
	分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )					
	その他(不織布マスク)					
	その他( )					
(発泡スチロール)	コップ、食品容器	食品容器(発泡スチロール)				
		コップ、食器(発泡スチロール)				
	発泡スチロール製フロート、浮子(ブイ)	発泡スチロール製フロート・浮子(ブイ)				
	発泡スチロールの破片	発泡スチロールの破片				
	発泡スチロール製包装材	発泡スチロール製包装材				
その他	分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )					
その他	その他					

※ 少なくとも「個数及び容積(L)」または「個数及び重量(kg)」を計測する。可能であれば、「個数・容積(L)・重量(kg)」すべて計測する。

大分類	必須項目	オプション項目	個数	容積(L) ※	重量(kg) ※		
ゴム	ゴム	タイヤ					
		玩具、ボール					
		風船					
		靴(サンダル、靴底含む)					
		ゴムの破片					
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( ) その他					
ガラス、陶器	ガラス、陶器	建築資材					
		食品容器					
		ガラス、陶器の破片					
		食品以外容器					
		コップ、食器					
		電球					
		蛍光管					
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( ) その他					
		金属	金属	ビンのふた、キャップ、プルタブ			
				アルミの飲料缶			
スチール製飲料用缶							
金属製コップ、食器							
フォーク・ナイフ・スプーン等							
その他の缶(ガスボンベ、ドラム缶、バケツ等)							
金属片							
ワイヤー、針金							
金属製漁具							
分類に無いもので多数見つかった場合には記載( ) その他							
紙、ダンボール	紙、ダンボール			紙製コップ、食器			
				タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)			
		花火					
		紙袋					
		食品包装材					
		紙製容器(飲料用紙パック等)					
		紙片(段ボール、新聞紙等を含む)					
分類に無いもので多数見つかった場合には記載( ) その他							
天然繊維、革	天然繊維、革	ロープ、ひも					
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( ) その他					
木(木材等)	木(木材等)	木材(物流用パレット、木炭等含む)					
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( ) その他					
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	電化製品、電子機器					
自然物	自然物	灌木(植物片を含む、径10cm未満、長さ1m未満)					
		流木(径10cm以上、長さ1m以上)					
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( ) その他					
その他	その他	その他1( )					
		その他2( )					
		その他3( )					
入力で動かせない物	細度: 経度:	ごみの種類( )					

※ 少なくとも「個数及び容積(L)」または「個数及び重量(kg)」を計測する。可能であれば、「個数・容積(L)・重量(kg)」すべて計測する。



## 2.3 調査実施日

調査対象海岸の調査は、下記の通り実施した。

海岸名	実施日
水晶浜海水浴場（三方郡美浜町）	令和5年4月26日

## 2.4 気象概況

調査実施前3か月間（2023年2月～4月）の降水量を表2.4-1及び図2.4-1に、風速風向については表2.4-2及び図2.4-2に示した。

調査実施前3か月間を通して降水量が20mm以上の降雨が各月に1日～3日程度見られたが、風速・風向では10m/sを超える日はなく、調査実施時期に豪雨や台風などの異常気象等は見られなかった。

表 2.4-1 2023年2月～4月における美浜観測所の日合計降水量

（参照：気象庁HP「過去の気象データ」<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/>）

2023年2月	降水量(mm) (日合計)	2023年3月	降水量(mm) (日合計)	2023年3月	降水量(mm) (日合計)
2023/2/1	2.5	2023/3/1	8.5	2023/4/1	0.0
2023/2/2	0.5	2023/3/2	13.5	2023/4/2	0.0
2023/2/3	0.0	2023/3/3	0.0	2023/4/3	0.0
2023/2/4	3.5	2023/3/4	0.0	2023/4/4	0.0
2023/2/5	1.0	2023/3/5	0.0	2023/4/5	0.0
2023/2/6	0.0	2023/3/6	0.0	2023/4/6	2.0
2023/2/7	0.0	2023/3/7	0.0	2023/4/7	38.0
2023/2/8	5.0	2023/3/8	0.0	2023/4/8	5.0
2023/2/9	0.0	2023/3/9	0.0	2023/4/9	0.0
2023/2/10	17.0	2023/3/10	0.5	2023/4/10	0.0
2023/2/11	0.0	2023/3/11	0.0	2023/4/11	0.0
2023/2/12	0.0	2023/3/12	0.0	2023/4/12	2.5
2023/2/13	2.0	2023/3/13	27.0	2023/4/13	0.0
2023/2/14	3.0	2023/3/14	0.0	2023/4/14	0.0
2023/2/15	0.5	2023/3/15	0.0	2023/4/15	14.5
2023/2/16	0.0	2023/3/16	2.5	2023/4/16	8.0
2023/2/17	0.0	2023/3/17	0.0	2023/4/17	5.0
2023/2/18	2.0	2023/3/18	13.5	2023/4/18	4.0
2023/2/19	23.5	2023/3/19	0.0	2023/4/19	0.0
2023/2/20	9.0	2023/3/20	0.0	2023/4/20	0.0
2023/2/21	2.0	2023/3/21	2.0	2023/4/21	0.0
2023/2/22	0.0	2023/3/22	0.0	2023/4/22	0.0
2023/2/23	2.0	2023/3/23	2.5	2023/4/23	0.0
2023/2/24	3.0	2023/3/24	16.5	2023/4/24	0.0
2023/2/25	0.5	2023/3/25	2.0	2023/4/25	4.5
2023/2/26	0.5	2023/3/26	20.0	2023/4/26	36.5
2023/2/27	0.0	2023/3/27	0.5	2023/4/27	0.0
2023/2/28	0.0	2023/3/28	0.0	2023/4/28	0.0
		2023/3/29	0.0	2023/4/29	2.0
		2023/3/30	0.0	2023/4/30	29.0
		2023/3/31	0.0		



図 2.4-1 2023年2月～4月における美浜観測所の日合計降水量  
 (参照：気象庁 HP 「過去の気象データ」 <https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/>)

表 2.4-2 2023年2月～4月における美浜観測所の日平均風速と日最多風向

(参照：気象庁 HP 「過去の気象データ」 <https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/>)

2023年2月	平均風速 (m/s)	最多風向 (16方位)	2023年3月	平均風速 (m/s)	最多風向 (16方位)	2023年4月	平均風速 (m/s)	最多風向 (16方位)
2023/2/1	1.9	南西	2023/3/1	2.2	南西	2023/4/1	1.6	南西
2023/2/2	3.9	北東	2023/3/2	4.4	北北西	2023/4/2	2.2	南西
2023/2/3	1.2	南西	2023/3/3	2.0	北北西	2023/4/3	1.9	北西
2023/2/4	2.1	南西	2023/3/4	2.2	南南西	2023/4/4	1.5	南南西
2023/2/5	1.5	南南西	2023/3/5	1.4	西北西	2023/4/5	3.0	南東
2023/2/6	1.1	南南西	2023/3/6	1.4	南	2023/4/6	4.1	南東
2023/2/7	1.0	南南西	2023/3/7	1.4	南南西	2023/4/7	1.7	南東
2023/2/8	2.6	北東	2023/3/8	1.1	南南西	2023/4/8	3.3	北北西
2023/2/9	3.3	北北東	2023/3/9	1.2	南南東	2023/4/9	2.4	北北西
2023/2/10	1.3	南南西	2023/3/10	1.4	北	2023/4/10	1.5	南西
2023/2/11	2.7	北北東	2023/3/11	1.2	南南西	2023/4/11	2.4	南東
2023/2/12	1.2	南西	2023/3/12	3.4	南東	2023/4/12	1.4	北北西
2023/2/13	3.0	北北西	2023/3/13	3.3	西北西	2023/4/13	1.4	南南東
2023/2/14	6.0	北北西	2023/3/14	1.6	南南西	2023/4/14	1.3	南西
2023/2/15	5.4	北北西	2023/3/15	2.0	南東	2023/4/15	2.0	南東
2023/2/16	2.3	北北東	2023/3/16	1.7	西北西	2023/4/16	2.5	北西
2023/2/17	1.2	南南西	2023/3/17	1.4	北西	2023/4/17	2.2	北西
2023/2/18	1.1	南南西	2023/3/18	2.2	北北西	2023/4/18	1.3	南南西
2023/2/19	2.4	北西	2023/3/19	1.4	南南西	2023/4/19	1.3	北北東
2023/2/20	4.4	北	2023/3/20	1.7	南南西	2023/4/20	1.2	南南西
2023/2/21	5.4	北	2023/3/21	0.8	南西	2023/4/21	3.0	北北西
2023/2/22	2.3	北東	2023/3/22	1.9	南西	2023/4/22	5.3	北北東
2023/2/23	1.2	南西	2023/3/23	2.7	南南東	2023/4/23	3.7	北北東
2023/2/24	1.5	南西	2023/3/24	2.0	北西	2023/4/24	3.5	北
2023/2/25	5.1	北	2023/3/25	1.7	北北西	2023/4/25	3.0	南南東
2023/2/26	4.9	北	2023/3/26	1.8	北	2023/4/26	3.2	北北西
2023/2/27	2.2	北北東	2023/3/27	2.0	北西	2023/4/27	1.5	北
2023/2/28	1.4	南西	2023/3/28	1.8	南南西	2023/4/28	2.1	南東
			2023/3/29	1.7	南南西	2023/4/29	3.8	南東
			2023/3/30	1.4	南南西	2023/4/30	2.0	北
			2023/3/31	1.2	南南西			

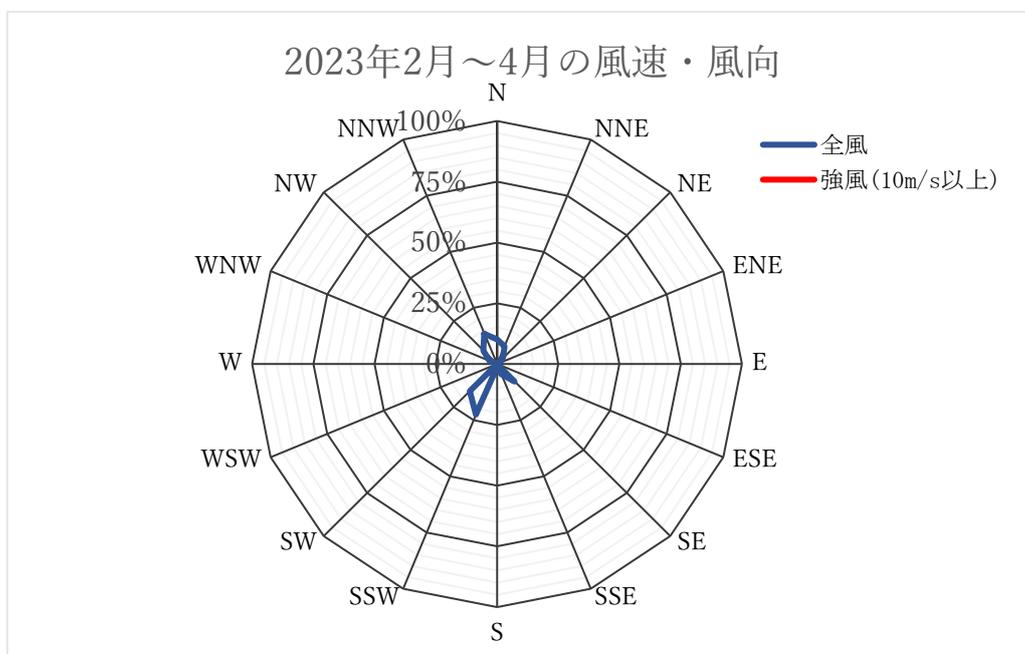


図 2.4-2 美浜観測所の日平均風速と日最多風向による風配図

(参照：気象庁 HP 「過去の気象データ」 <https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/>)

## 2.5 調査結果

調査結果について以下に示す。

### 2.5.1 調査前後の写真

水晶浜海岸における海岸漂着物等の回収前後の写真写真を写真 2.5.1-1 に示した。なお、写真撮影地点番号は図 2.1-1 を参照した。

	回収前 (2023/4/26)	回収後 (2023/4/26)
①から海方向		
①から②の方向		
①から陸方向		

写真 2.5.1-1 海岸漂着物等の回収前後の写真

	回収前 (2023/4/26)	回収後 (2023/4/26)
③から海方向		
③から②の方向		
③から陸方向		

	回収前 (2023/4/26)	回収後 (2023/4/26)
②から海方向		
②から①方向		
②から③方向		
②から陸方向		

## 2.5.2 海岸漂着物調査結果

本調査により回収した海岸漂着物の例を写真 2.5.2-1 に示す。

また、回収した海岸漂着物の調査結果について、個数・容積・重量の結果をそれぞれ表に示した（表 2.5.2-1、表 2.5.2-2、表 2.5.2-3）。現地で計測した値のほかに、各調査項目の合計に占める割合や各調査項目が属している大分類の合計に占める割合、総計に占める割合なども併記した。

なお、以降の調査結果及び分析に用いている表・グラフについては端数処理の関係で合計値が一致しないことがある。

		
ロープ・ひも（漁具）	プラ_ボトルのキャップ	飲料用（ペットボトル）
		
アナゴ筒 （フタ、筒）（漁具）	プラ_マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	浮子（ブイ）（漁具） （プラスチック・発泡スチロール）

写真 2.5.2-1 水晶浜海水浴場における海岸漂着物の例

表 2.5.2-1 水晶浜海水浴場における海岸漂着物の調査結果 (個数)

大分類	必須項目	オプション項目	個数(個)	個数の総計に占める割合(%)		
				各大分類の合計個数に占める割合(%)	個数の総計に占める割合(%)	
プラスチック	ボトルのキャップ、ふた	ボトルのキャップ、ふた	964	27.9	26.7	
		<b>小計</b>	<b>964</b>	<b>27.9</b>	<b>26.7</b>	
	ボトル	飲料用(ペットボトル)<1L		73	2.1	2.0
		その他のプラボトル<1L		132	3.8	3.7
		飲料用(ペットボトル)≥1L		9	0.3	0.2
		その他のプラボトル類≥1L		24	0.7	0.7
		<b>小計</b>	<b>238</b>	<b>6.9</b>	<b>6.6</b>	
	ストロー	ストロー	116	3.4	3.2	
		<b>小計</b>	<b>116</b>	<b>3.4</b>	<b>3.2</b>	
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	88	2.5	2.4	
		<b>小計</b>	<b>88</b>	<b>2.5</b>	<b>2.4</b>	
	食品容器(ファーストフード、コップ、ランチボックス、それに類するもの)	カップ、食器		1	0.0	0.0
		食品容器		44	1.3	1.2
		<b>小計</b>	<b>45</b>	<b>1.3</b>	<b>1.2</b>	
	ポリ袋(不透明、透明)	食品の容器包装		33	1.0	0.9
		レジ袋		4	0.1	0.1
		その他プラスチック袋		11	0.3	0.3
		<b>小計</b>	<b>48</b>	<b>1.4</b>	<b>1.3</b>	
	ライター	ライター	77	2.2	2.1	
		<b>小計</b>	<b>77</b>	<b>2.2</b>	<b>2.1</b>	
	シリンジ、注射器	シリンジ、注射器	7	0.2	0.2	
		<b>小計</b>	<b>7</b>	<b>0.2</b>	<b>0.2</b>	
	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)		63	1.8	1.7
		シートや袋の破片		63	1.8	1.7
		<b>小計</b>	<b>63</b>	<b>1.8</b>	<b>1.7</b>	
	硬質プラスチック破片	硬質プラスチック破片				
		<b>小計</b>	<b>0</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	
	ウレタン	ウレタン	83	2.4	2.3	
		<b>小計</b>	<b>83</b>	<b>2.4</b>	<b>2.3</b>	
	ブイ(漁具)	浮子(ブイ)(漁具)	135	3.9	3.7	
		<b>小計</b>	<b>135</b>	<b>3.9</b>	<b>3.7</b>	
	ロープ、ひも(漁具)	ロープ、ひも(漁具)	1,044	30.2	28.9	
		<b>小計</b>	<b>1,044</b>	<b>30.2</b>	<b>28.9</b>	
アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	67	1.9	1.8		
	<b>小計</b>	<b>67</b>	<b>1.9</b>	<b>1.8</b>		
カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	220	6.4	6.1		
	<b>小計</b>	<b>220</b>	<b>6.4</b>	<b>6.1</b>		
カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	12	0.3	0.3		
	<b>小計</b>	<b>12</b>	<b>0.3</b>	<b>0.3</b>		
漁網(漁具)	漁網(漁具)	0	0.0	0.0		
	<b>小計</b>	<b>0</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>		
その他の漁具(漁具)	釣りのルアー・浮き		63	1.8	1.7	
	かご漁具		80	2.3	2.2	
	釣り糸		0	0.0	0.0	
	その他の漁具(たこ壺)		1	0.0	0.0	
	<b>小計</b>	<b>144</b>	<b>4.2</b>	<b>4.0</b>		
その他	たばこ吸殻(フィルター)		0	0.0	0.0	
	生活雑貨(歯ブラシ等)		60	1.7	1.7	
	花火		0	0.0	0.0	
	玩具		7	0.2	0.2	
	プラスチック梱包材		36	1.0	1.0	
	6パックホルダー		0	0.0	0.0	
	苗木ポット		4	0.1	0.1	
	分類に無いもので多数見つかった場合には記載(マスク)		1	0.0	0.0	
	その他		0	0.0	0.0	
		<b>小計</b>	<b>108</b>	<b>3.1</b>	<b>3.0</b>	
<b>プラスチック 合計</b>			<b>3,458</b>	<b>100.0</b>	<b>95.8</b>	
発泡スチロール	コップ、食品容器	食品容器(発泡スチロール)	39	58.0	1.1	
		コップ、食器(発泡スチロール)	0	0.0	0.0	
		<b>小計</b>	<b>39</b>	<b>58.0</b>	<b>1.1</b>	
	発泡スチロール製フロート、ブイ	発泡スチロール製フロート・浮子(ブイ)	28	42.0	0.8	
		<b>小計</b>	<b>28</b>	<b>42.0</b>	<b>0.8</b>	
	発泡スチロールの破片	発泡スチロールの破片				
		<b>小計</b>	<b>0</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	
発泡スチロール製包装材	発泡スチロール製包装材	0	0.0	0.0		
	<b>小計</b>	<b>0</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>		
その他	分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )		0	0.0	0.0	
	その他		0	0.0	0.0	
	<b>小計</b>	<b>0</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>		
<b>発泡スチロール 合計</b>			<b>67</b>	<b>100.0</b>	<b>1.8</b>	

大分類	必須項目	オプション項目	個数(個)	個数の総計に占める割合(%)	
				各大分類の合計個数に占める割合(%)	個数の総計に占める割合(%)
ゴム	ゴム	タイヤ	1	5.1	0.0
		玩具、ボール	0	0.0	0.0
		風船	0	0.0	0.0
		靴(サンダル、靴底含む)	19	94.9	0.5
		ゴムの破片			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0	0.0	0.0
		その他	0	0.0	0.0
		小計	20	100.0	0.5
		ゴム 合計	20	100.0	0.5
		ガラス、陶器	ガラス、陶器	建築資材	0
食品容器	17			100.0	0.5
ガラス、陶器の破片					
食品以外容器	0			0.0	0.0
コップ、食器	0			0.0	0.0
電球	0			0.0	0.0
蛍光管	0			0.0	0.0
分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0			0.0	0.0
その他	0			0.0	0.0
小計	17			100.0	0.5
ガラス、陶器 合計	17			100.0	0.5
金属	金属	ビンのふた、キャップ、ブルタブ	0	0.0	0.0
		アルミの飲料缶	3	50.0	0.1
		スチール製飲料用缶	0	0.0	0.0
		金属製コップ、食器	0	0.0	0.0
		フォーク・ナイフ・スプーン等	0	0.0	0.0
		その他の缶(ガスボンベ、ドラム缶、バケツ等)	3	50.0	0.1
		金属片	0	0.0	0.0
		ワイヤー、針金	0	0.0	0.0
		金属製漁具	0	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0	0.0	0.0
		その他	0	0.0	0.0
		小計	6	100.0	0.2
		金属 合計	6	100.0	0.2
紙、ダンボール	紙、ダンボール	紙製コップ、食器	0	0.0	0.0
		タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)	0	0.0	0.0
		花火	0	0.0	0.0
		紙袋	0	0.0	0.0
		食品包装材	0	0.0	0.0
		紙製容器(飲料用紙パック等)	0	0.0	0.0
		紙片(段ボール、新聞紙等を含む)			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0	0.0	0.0
		その他	0	0.0	0.0
		小計	0	0.0	0.0
紙、ダンボール 合計	0	0.0	0.0		
天然繊維、革	天然繊維、革	ロープ、ひも	0	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0	0.0	0.0
		その他( )	0	0.0	0.0
		小計	0	0.0	0.0
天然繊維、革 合計	0	0.0	0.0		
木(木材等)	木(木材等)	木材(物流用パレット、木炭等含む)	31	100.0	0.9
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0	0.0	0.0
		その他	0	0.0	0.0
		小計	31	100.0	0.9
木(木材等) 合計	31	0.9	0.9		
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	0	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0	0.0	0.0
		その他	0	0.0	0.0
		小計	0	0.0	0.0
電化製品、電子機器 合計	0	0.0	0.0		
自然物	自然物	灌木(植物片を含む、径10cm未満、長さ1m未満)			
		流木(径10cm以上、長さ1m以上)	10	0.0	0.3
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0	0.0	0.0
		その他	0	0.0	0.0
		小計	10	0.0	0.3
自然物 合計	10	0.0	0.3		
その他	その他	その他1( )	0	0.0	0.0
		その他2( )	0	0.0	0.0
		その他3( )	0	0.0	0.0
		小計	0	0.0	0.0
		その他 合計	0	0.0	0.0
総計			3,608		100.0

表 2.5.2-2 水晶浜海水浴場における海岸漂着物の調査結果（容積）

大分類	必須項目	オプション項目	容積(L)		
			各大大分類の合計容積に占める割合(%)	容積の総計に占める割合(%)	容積の総計に占める割合(%)
プラスチック	ボトルのキャップ、ふた	ボトルのキャップ、ふた	10.3	0.4	0.3
		小計	10.3	0.4	0.3
	ボトル	飲料用(ペットボトル)<1L	46.5	2.0	1.4
		その他のプラボトル<1L	66.7	2.9	2.0
		飲料用(ペットボトル)≥1L	40.0	1.7	1.2
		その他のプラボトル類≥1L	120.0	5.2	3.7
		小計	273.2	11.7	8.4
	ストロー	ストロー	0.9	0.0	0.0
		小計	0.9	0.0	0.0
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	0.5	0.0	0.0
		小計	0.5	0.0	0.0
	食品容器(ファーストフード、コップ、ランチボックス、それに類するもの)	カップ、食器	0.3	0.0	0.0
		食品容器	1.6	0.1	0.0
		小計	1.9	0.1	0.1
	ポリ袋(不透明、透明)	食品の容器包装	1.7	0.1	0.1
		レジ袋	0.4	0.0	0.0
		その他プラスチック袋	16.0	0.7	0.5
		小計	18.1	0.8	0.6
	ライター	ライター	0.9	0.0	0.0
		小計	0.9	0.0	0.0
	シリンジ、注射器	シリンジ、注射器	0.3	0.0	0.0
		小計	0.3	0.0	0.0
	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	1.1	0.0	0.0
		小計	1.1	0.0	0.0
	シートや袋の破片	シートや袋の破片	26.7	1.1	0.8
		小計	26.7	1.1	0.8
	硬質プラスチック破片	硬質プラスチック破片	1,336.0	57.3	41.0
		小計	1,336.0	57.3	41.0
	ウレタン	ウレタン	9.3	0.4	0.3
		小計	9.3	0.4	0.3
	ブイ(漁具)	浮子(ブイ)(漁具)	200.2	8.6	6.1
		小計	200.2	8.6	6.1
	ロープ、ひも(漁具)	ロープ、ひも(漁具)	405.0	17.4	12.4
	小計	405.0	17.4	12.4	
アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	18.7	0.8	0.6	
	小計	18.7	0.8	0.6	
カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	0.3	0.0	0.0	
	小計	0.3	0.0	0.0	
カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	0.3	0.0	0.0	
	小計	0.3	0.0	0.0	
漁網(漁具)	漁網(漁具)	0.0	0.0	0.0	
	小計	0.0	0.0	0.0	
その他の漁具(漁具)	釣りのルアー・浮き	0.3	0.0	0.0	
	かご漁具	6.0	0.3	0.2	
	釣り糸	0.0	0.0	0.0	
	その他の漁具(たこ壺)	1.3	0.1	0.0	
	小計	7.6	0.3	0.2	
その他	たばこ吸殻(フィルター)	0.0	0.0	0.0	
	生活雑貨(歯ブラシ等)	0.7	0.0	0.0	
	花火	0.0	0.0	0.0	
	玩具	0.3	0.0	0.0	
	プラスチック梱包材	17.3	0.7	0.5	
	6パックホルダー	0.0	0.0	0.0	
	苗木ポット	0.4	0.0	0.0	
	分類に無いもので多数見つかった場合には記載(マスク)	0.1	0.0	0.0	
	その他	0.0	0.0	0.0	
	小計	18.8	0.8	0.6	
	<b>プラスチック 合計</b>	<b>2,330.1</b>	<b>100.0</b>	<b>71.8</b>	
発泡スチロール	コップ、食品容器	食品容器(発泡スチロール)	0.1	0.1	0.0
		コップ、食器(発泡スチロール)	0.0	0.0	0.0
		小計	0.1	0.1	0.0
	発泡スチロール製フロート、ブイ	発泡スチロール製フロート・浮子(ブイ)	40.0	41.6	1.2
		小計	40.0	41.6	1.2
	発泡スチロールの破片	発泡スチロールの破片	56.0	58.3	1.7
		小計	56.0	58.3	1.7
発泡スチロール製包装材	発泡スチロール製包装材	0.0	0.0	0.0	
	小計	0.0	0.0	0.0	
その他	分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0.0	0.0	0.0	
	その他	0.0	0.0	0.0	
	小計	0.0	0.0	0.0	
	<b>発泡スチロール 合計</b>	<b>96.1</b>	<b>100.0</b>	<b>3.0</b>	

大分類	必須項目	オプション項目	容積(L)		
			容積(L)	各大分類の合計容積に占める割合(%)	容積の総計に占める割合(%)
ゴム	ゴム	タイヤ	0.8	2.5	0.0
		玩具、ボール	0.0	0.0	0.0
		風船	0.0	0.0	0.0
		靴(サンダル、靴底含む)	26.7	84.7	0.8
		ゴムの破片	4.0	12.7	0.1
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0.0	0.0	0.0
		その他	0.0	0.0	0.0
		小計	31.5	100.0	1.0
		ゴム 合計	31.5	100.0	1.0
		ガラス、陶器	ガラス、陶器	建築資材	0.0
食品容器	5.3			88.8	0.2
ガラス、陶器の破片	0.7			0.0	0.0
食品以外容器	0.0			0.0	0.0
コップ、食器	0.0			0.0	0.0
電球	0.0			0.0	0.0
蛍光管	0.0			0.0	0.0
分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0.0			0.0	0.0
その他	0.0			0.0	0.0
小計	6.0			100.0	0.2
ガラス、陶器 合計	6.0	100.0	0.2		
金属	金属	ビンのふた、キャップ、プルタブ	0.0	0.0	0.0
		アルミの飲料缶	0.8	28.6	0.0
		スチール製飲料用缶	0.0	0.0	0.0
		金属製コップ、食器	0.0	0.0	0.0
		フォーク・ナイフ・スプーン等	0.0	0.0	0.0
		その他の缶(ガスボンベ、ドラム缶、バケツ等)	2.0	71.4	0.1
		金属片	0.0	0.0	0.0
		ワイヤー、針金	0.0	0.0	0.0
		金属製漁具	0.0	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0		
小計	2.8	100.0	0.1		
金属 合計	2.8	100.0	0.1		
紙、ダンボール	紙、ダンボール	紙製コップ、食器	0.0	0.0	0.0
		タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)	0.0	0.0	0.0
		花火	0.0	0.0	0.0
		紙袋	0.0	0.0	0.0
		食品包装材	0.0	0.0	0.0
		紙製容器(飲料用紙パック等)	0.0	0.0	0.0
		紙片(段ボール、新聞紙等を含む)	0.0	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0.0	0.0	0.0
		その他	0.0	0.0	0.0
		小計	0.0	0.0	0.0
紙、ダンボール 合計	0.0	0.0	0.0		
天然繊維、革	天然繊維、革	ロープ、ひも	0.0	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0.0	0.0	0.0
		その他( )	0.0	0.0	0.0
小計	0.0	0.0	0.0		
天然繊維、革 合計	0.0	0.0	0.0		
木(木材等)	木(木材等)	木材(物流用パレット、木炭等含む)	160.0	100.0	4.9
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0.0	0.0	0.0
		その他	0.0	0.0	0.0
小計	160.0	100.0	4.9		
木(木材等) 合計	160.0	100.0	4.9		
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	0.0	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0.0	0.0	0.0
		その他	0.0	0.0	0.0
小計	0.0	0.0	0.0		
電化製品、電子機器 合計	0.0	0.0	0.0		
自然物	自然物	灌木(植物片を含む、径10cm未満、長さ1m未満)	400.0	63.5	12.3
		流木(径10cm以上、長さ1m以上)	230.0	36.5	7.1
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0.0	0.0	0.0
		その他	0.0	0.0	0.0
小計	630.0	100.0	19.3		
自然物 合計	630.0	100.0	19.3		
その他	その他	その他1( )	0.0	0.0	0.0
		その他2( )	0.0	0.0	0.0
		その他3( )	0.0	0.0	0.0
		小計	0.0	0.0	0.0
その他 合計	0.0	0.0	0.0		
<b>総計</b>			<b>3,256.4</b>	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>

表 2.5.2-3 水晶浜海水浴場における海岸漂着物の調査結果（重量）

大分類	必須項目	オプション項目	重量 (kg)	重量の総計に占める割合 (%)		
				各大分類の合計重量に占める割合 (%)	重量の総計に占める割合 (%)	
プラスチック	ボトルのキャップ、ふた	ボトルのキャップ、ふた	2.83	0.9	0.5	
		<b>小計</b>	<b>2.83</b>	<b>0.9</b>	<b>0.5</b>	
	ボトル	飲料用(ペットボトル)<1L		3.26	1.1	0.6
		その他のプラボトル<1L		4.35	1.5	0.8
		飲料用(ペットボトル)≥1L		2.40	0.8	0.5
		その他のプラボトル類≥1L		6.36	2.1	1.2
		<b>小計</b>	<b>16.37</b>	<b>5.5</b>	<b>3.1</b>	
	ストロー	ストロー	0.13	0.0	0.0	
		<b>小計</b>	<b>0.13</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	0.25	0.1	0.0	
		<b>小計</b>	<b>0.25</b>	<b>0.1</b>	<b>0.0</b>	
	食品容器(ファーストフード、コップ、ランチボックス、それに類するもの)	カップ、食器		0.07	0.0	0.0
		食品容器		0.36	0.1	0.1
		<b>小計</b>	<b>0.43</b>	<b>0.1</b>	<b>0.1</b>	
	ポリ袋(不透明、透明)	食品の容器包装		0.19	0.1	0.0
		レジ袋		0.05	0.0	0.0
		その他プラスチック袋		0.45	0.2	0.1
		<b>小計</b>	<b>0.69</b>	<b>0.2</b>	<b>0.1</b>	
	ライター	ライター	0.83	0.3	0.2	
		<b>小計</b>	<b>0.83</b>	<b>0.3</b>	<b>0.2</b>	
	シリンジ、注射器	シリンジ、注射器	0.04	0.0	0.0	
		<b>小計</b>	<b>0.04</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	
	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)		0.04	0.0	0.0
			<b>小計</b>	<b>0.04</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>
	シートや袋の破片	シートや袋の破片	1.92	0.6	0.4	
		<b>小計</b>	<b>1.92</b>	<b>0.6</b>	<b>0.4</b>	
	硬質プラスチック破片	硬質プラスチック破片	149.09	50.0	28.2	
		<b>小計</b>	<b>149.09</b>	<b>50.0</b>	<b>28.2</b>	
	ウレタン	ウレタン	1.00	0.3	0.2	
		<b>小計</b>	<b>1.00</b>	<b>0.3</b>	<b>0.2</b>	
	ブイ(漁具)	浮子(ブイ)(漁具)	28.22	9.5	5.3	
		<b>小計</b>	<b>28.22</b>	<b>9.5</b>	<b>5.3</b>	
	ロープ、ひも(漁具)	ロープ、ひも(漁具)	90.75	30.4	17.2	
	<b>小計</b>	<b>90.75</b>	<b>30.4</b>	<b>17.2</b>		
アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	2.20	0.7	0.4		
	<b>小計</b>	<b>2.20</b>	<b>0.7</b>	<b>0.4</b>		
カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	0.24	0.1	0.0		
	<b>小計</b>	<b>0.24</b>	<b>0.1</b>	<b>0.0</b>		
カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	0.11	0.0	0.0		
	<b>小計</b>	<b>0.11</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>		
漁網(漁具)	漁網(漁具)	0.00	0.0	0.0		
	<b>小計</b>	<b>0.00</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>		
その他の漁具(漁具)	釣りのルアー・浮き		0.49	0.2	0.1	
	かご漁具		1.07	0.4	0.2	
	釣り糸		0.00	0.0	0.0	
	その他の漁具(たこ壺)		0.37	0.1	0.1	
	<b>小計</b>	<b>1.93</b>	<b>0.6</b>	<b>0.4</b>		
その他	たばこ吸殻(フィルター)		0.00	0.0	0.0	
	生活雑貨(歯ブラシ等)		0.57	0.2	0.1	
	花火		0.00	0.0	0.0	
	玩具		0.10	0.0	0.0	
	プラスチック梱包材		0.32	0.1	0.1	
	6パックホルダー		0.00	0.0	0.0	
	苗木ポット		0.11	0.0	0.0	
	分類に無いもので多数見つかった場合には記載(マスク)		0.00	0.0	0.0	
	その他		0.00	0.0	0.0	
		<b>小計</b>	<b>1.10</b>	<b>0.4</b>	<b>0.2</b>	
	<b>プラスチック 合計</b>	<b>298.18</b>	<b>100.0</b>	<b>56.4</b>		
発泡スチロール	コップ、食品容器	食品容器(発泡スチロール)	0.11	4.6	0.0	
		コップ、食器(発泡スチロール)	0.00	0.0	0.0	
		<b>小計</b>	<b>0.11</b>	<b>4.6</b>	<b>0.0</b>	
	発泡スチロール製フロート、ブイ	発泡スチロール製フロート・浮子(ブイ)	1.32	56.6	0.2	
		<b>小計</b>	<b>1.32</b>	<b>56.6</b>	<b>0.2</b>	
	発泡スチロールの破片	発泡スチロールの破片	0.91	38.9	0.2	
		<b>小計</b>	<b>0.91</b>	<b>38.9</b>	<b>0.2</b>	
発泡スチロール製包装材	発泡スチロール製包装材	0.00	0.0	0.0		
	<b>小計</b>	<b>0.00</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>		
その他	分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )		0.00	0.0	0.0	
	その他		0.00	0.0	0.0	
	<b>小計</b>	<b>0.00</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>		
	<b>発泡スチロール 合計</b>	<b>2.33</b>	<b>100.0</b>	<b>0.4</b>		

大分類	必須項目	オプション項目	重量(kg)	重量の総計に占める割合(%)	
				各大分類の合計重量に占める割合(%)	重量の総計に占める割合(%)
ゴム	ゴム	タイヤ	2.14	34.1	0.4
		玩具、ボール	0.00	0.0	0.0
		風船	0.00	0.0	0.0
		靴(サンダル、靴底含む)	2.69	42.9	0.5
		ゴムの破片	1.44	23.0	0.3
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0.00	0.0	0.0
		その他	0.00	0.0	0.0
		小計	6.27	100.0	1.2
		ゴム 合計	6.27	100.0	1.2
		ガラス、陶器	ガラス、陶器	建築資材	0.00
食品容器	3.12			84.5	0.6
ガラス、陶器の破片	0.57			15.5	0.1
食品以外容器	0.00			0.0	0.0
コップ、食器	0.00			0.0	0.0
電球	0.00			0.0	0.0
蛍光管	0.00			0.0	0.0
分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0.00			0.0	0.0
その他	0.00			0.0	0.0
小計	3.69			100.0	0.7
ガラス、陶器 合計	3.69	100.0	0.7		
金属	金属	ビンのふた、キャップ、プルタブ	0.00	0.0	0.0
		アルミの飲料缶	0.20	43.5	0.0
		スチール製飲料用缶	0.00	0.0	0.0
		金属製コップ、食器	0.00	0.0	0.0
		フォーク・ナイフ・スプーン等	0.00	0.0	0.0
		その他の缶(ガスボンベ、ドラム缶、バケツ等)	0.26	56.5	0.0
		金属片	0.00	0.0	0.0
		ワイヤー、針金	0.00	0.0	0.0
		金属製漁具	0.00	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0.00	0.0	0.0
その他	0.00	0.0	0.0		
小計	0.46	100.0	0.1		
金属 合計	0.46	100.0	0.1		
紙、ダンボール	紙、ダンボール	紙製コップ、食器	0.00	0.0	0.0
		タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)	0.00	0.0	0.0
		花火	0.00	0.0	0.0
		紙袋	0.00	0.0	0.0
		食品包装材	0.00	0.0	0.0
		紙製容器(飲料用紙パック等)	0.00	0.0	0.0
		紙片(段ボール、新聞紙等を含む)	0.00	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0.00	0.0	0.0
		その他	0.00	0.0	0.0
		小計	0.00	0.0	0.0
紙、ダンボール 合計	0.00	0.0	0.0		
天然繊維、革	天然繊維、革	ロープ、ひも	0.00	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0.00	0.0	0.0
		その他( )	0.00	0.0	0.0
小計	0.00	0.0	0.0		
天然繊維、革 合計	0.00	0.0	0.0		
木(木材等)	木(木材等)	木材(物流用パレット、木炭等含む)	32.15	100.0	6.1
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0.00	0.0	0.0
		その他	0.00	0.0	0.0
小計	32.15	100.0	6.1		
木(木材等) 合計	32.15	100.0	6.1		
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	0.00	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0.00	0.0	0.0
		その他	0.00	0.0	0.0
小計	0.00	0.0	0.0		
電化製品、電子機器 合計	0.00	0.0	0.0		
自然物	自然物	灌木(植物片を含む、径10cm未満、長さ1m未満)	126.18	67.8	23.8
		流木(径10cm以上、長さ1m以上)	59.80	32.2	11.3
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0.00	0.0	0.0
		その他	0.00	0.0	0.0
小計	185.98	100.0	35.2		
自然物 合計	185.98	100.0	35.2		
その他	その他	その他1( )	0.00	0.0	0.0
		その他2( )	0.00	0.0	0.0
		その他3( )	0.00	0.0	0.0
		小計	0.00	0.0	0.0
その他 合計	0.00	0.0	0.0		
<b>総計</b>			<b>529.07</b>	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>

### 2.5.3 大分類別の組成

大分類別の組成（個数・容積・重量）について集計した結果を表 2.5.3-1 に示した。また、個数による組成比を表した円グラフを図 2.5.3-1 に、容積による組成比を表した円グラフを図 2.5.3-2 に、重量による組成比を表した円グラフを図 2.5.3-3 に示した。

大分類別の個数についてみると、全個数のうちプラスチックの割合が最も大きく 95.8%を占めていた。

大分類別の容積についてみると、全容積のうちプラスチックの割合が最も大きく 71.6%を占め、次いで自然物が 19.3%と続いていた。

大分類別の重量についてみると、全重量のうちプラスチックの割合が最も大きく 56.4%を占め、次いで自然物が 35.2%と続いていた。

表 2.5.3-1 大分類別の集計結果

	個数		容積		重量	
	個	%	L	%	kg	%
プラスチック	3,458	95.8	2,330.1	71.6	298.18	56.4
発泡スチロール	67	1.8	96.1	3.0	2.33	0.4
ゴム	20	0.5	31.5	1.0	6.27	1.2
ガラス、陶器	17	0.5	6.0	0.2	3.69	0.7
金属	6	0.2	2.8	0.1	0.46	0.1
紙、段ボール	0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0
天然繊維、革	0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0
木（木材等）	31	0.9	160.0	4.9	32.15	6.1
電化製品、電子機器	0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0
自然物	10	0.3	630.0	19.3	185.98	35.2
その他	0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0
総計	3,608	100.0	3,256.4	100.0	529.07	100.0

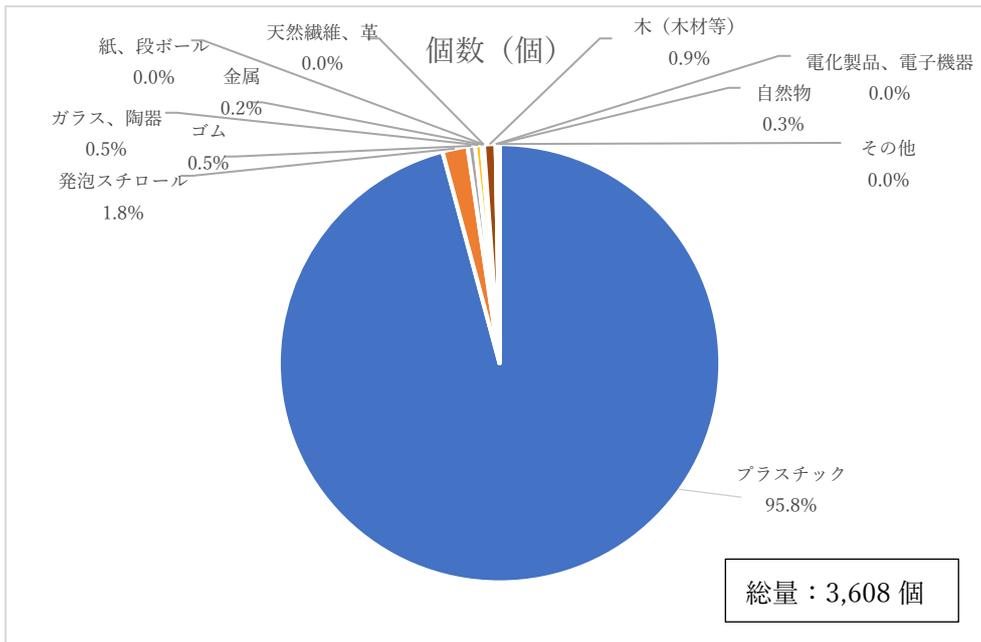


図 2.5.3-1 大分類別の組成比 (個：%)

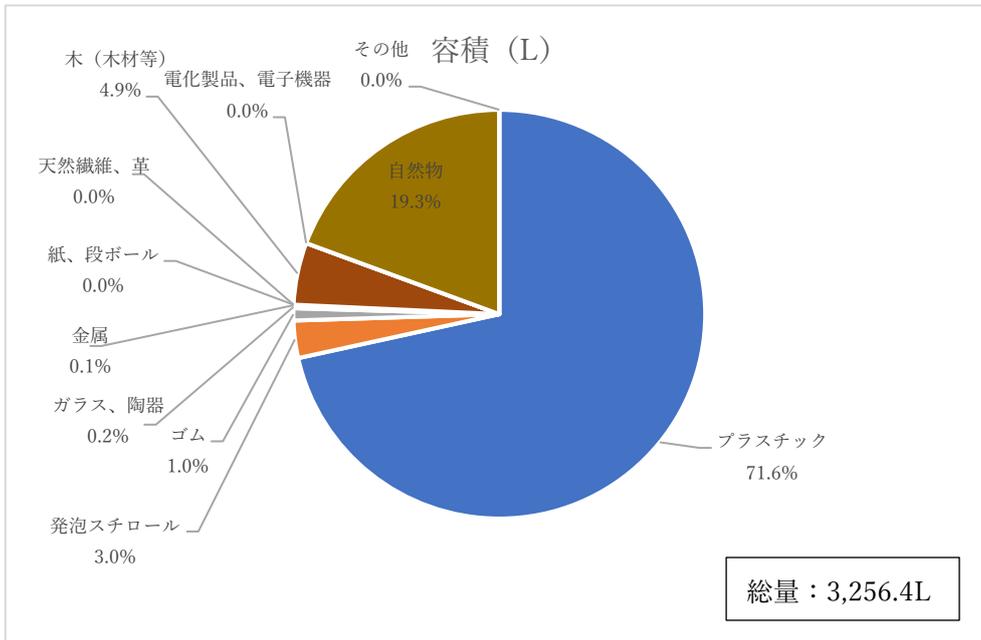


図 2.5.3-2 大分類別の組成比 (L：%)

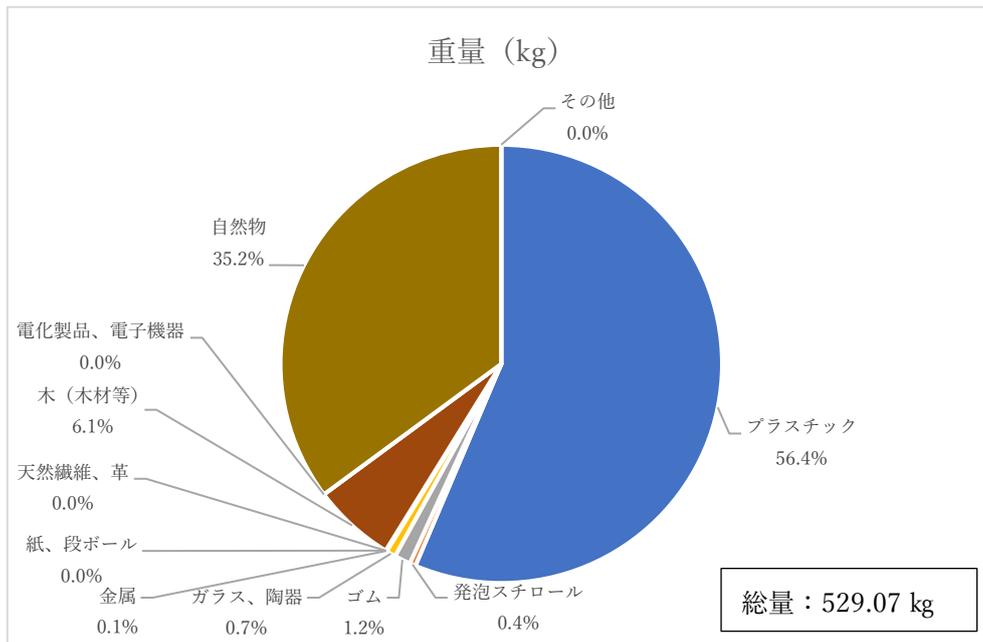


図 2.5.3-3 大分類別の組成比 (kg : %)

#### 2.5.4 人工物別の組成

人工物別の組成（個数・容積・重量）について集計した結果を表 2.5.4-1 に示した。個数による組成比を表した円グラフを図 2.5.4-1 に、容積による組成比を表した円グラフを図 2.5.4-2 に、重量による組成比を表した円グラフを図 2.5.4-3 に示した。

人工物別の個数についてみると、全個数のうちプラスチックの割合が最も大きく 96.1%を占めていた。

人工物別の容積についてみると、全容積のうちプラスチックの割合が最も大きく 88.7%を占め、次いで木（木材等）が 6.1%と続いていた。

人工物別の重量についてみると、全重量のうちプラスチックの割合が最も大きく 86.9%を占め、次いで木（木材等）が 9.4%と続いていた。

表 2.5.4-1 人工物集計結果

	個数		容積		重量	
	個	%	L	%	kg	%
プラスチック	3,458	96.1	2,330.1	88.7	298.18	86.9
発泡スチロール	67	1.9	96.1	3.7	2.33	0.7
ゴム	20	0.5	31.5	1.2	6.27	1.8
ガラス、陶器	17	0.5	6.0	0.2	3.69	1.1
金属	6	0.2	2.8	0.1	0.46	0.1
紙、段ボール	0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0
天然繊維、革	0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0
木（木材等）	31	0.9	160.0	6.1	32.15	9.4
電化製品、電子機器	0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0
その他	0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0
総計	3,598	100.0	2,626.4	100.0	343.09	100.0

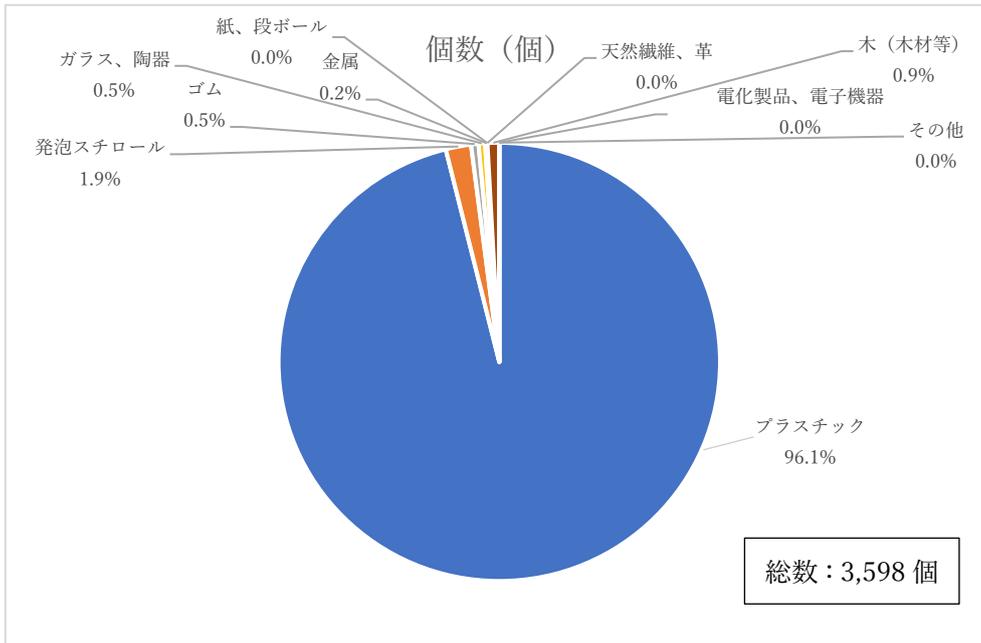


図 2.5.4-1 人工物の組成比 (個：%)

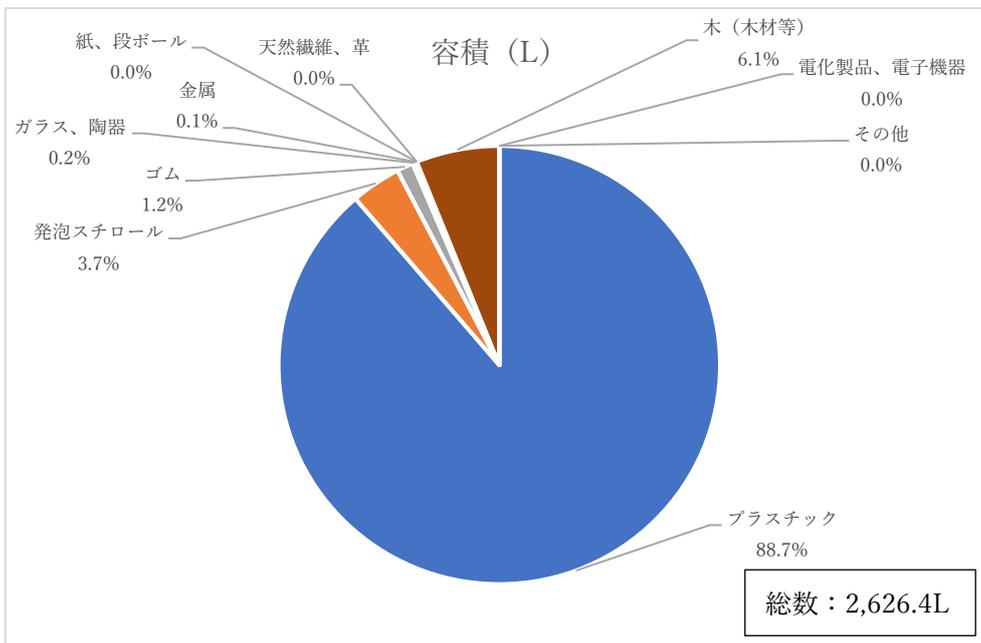


図 2.5.4-2 人工物の組成比 (L：%)

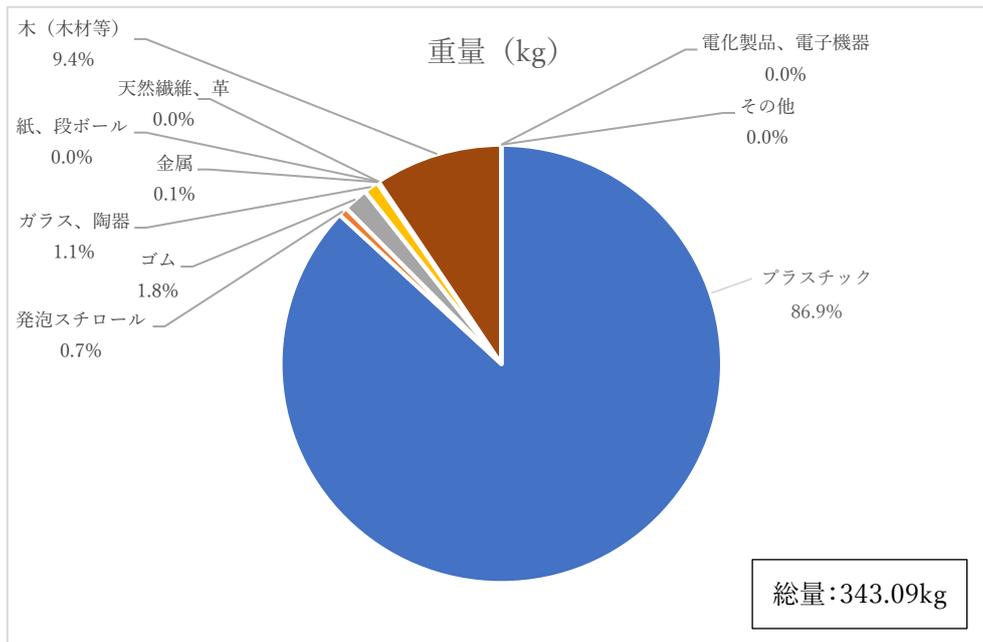


図 2.5.4-3 人工物の組成比 (kg : %)

### 2.5.5 3分類別の組成

3分類別（人工物、海域由来、自然物）の組成（個数・容積・重量）について集計した結果を表 2.5.5-1 に示した。個数の組成比を表した円グラフを図 2.5.5-1 に、容積の組成比を表した円グラフを図 2.5.5-2 に、重量の組成比を表した円グラフを図 2.5.5-3 に示した。なお海域由来とは、ごみの発生場所が陸域ではなく主に海域と想定されるもので、漂着ごみ組成調査データシート（令和 3 年 10 月 第 3 版）の分類表（表 2.2-1）に記載のプラ分類の項目をもとに集計した。

3分類別（人工物、海域由来、自然物）の個数についてみると、全個数のうち海域由来を除いた人工物の個数が 54.2% を占め、海域由来は 45.8% であった。

3分類別（人工物、海域由来、自然物）の容積についてみると、海域由来を除いた人工物が 60.0% を占め、次いで自然物が 20.6% で海域由来が 19.3% であった。

3分類別（人工物、海域由来、自然物）の重量についてみると、全重量のうち海域由来を除いた人工物の重量が 41.3% を占め、次いで自然物が 35.2% で海域由来が 23.6% であった。

表 2.5.5-1 3分類別集計結果

	個数		容積		重量	
	個	%	L	%	kg	%
人工物	1,949	54.2	1,954.4	60.0	218.32	41.3
海域由来	1,649	45.8	672.0	20.6	124.77	23.6
自然物			630.0	19.3	185.98	35.2
合計	3,598	100.0	3,256.4	100.0	529.07	100.0

※自然物に含まれる灌木は、カウントしないため個数不明

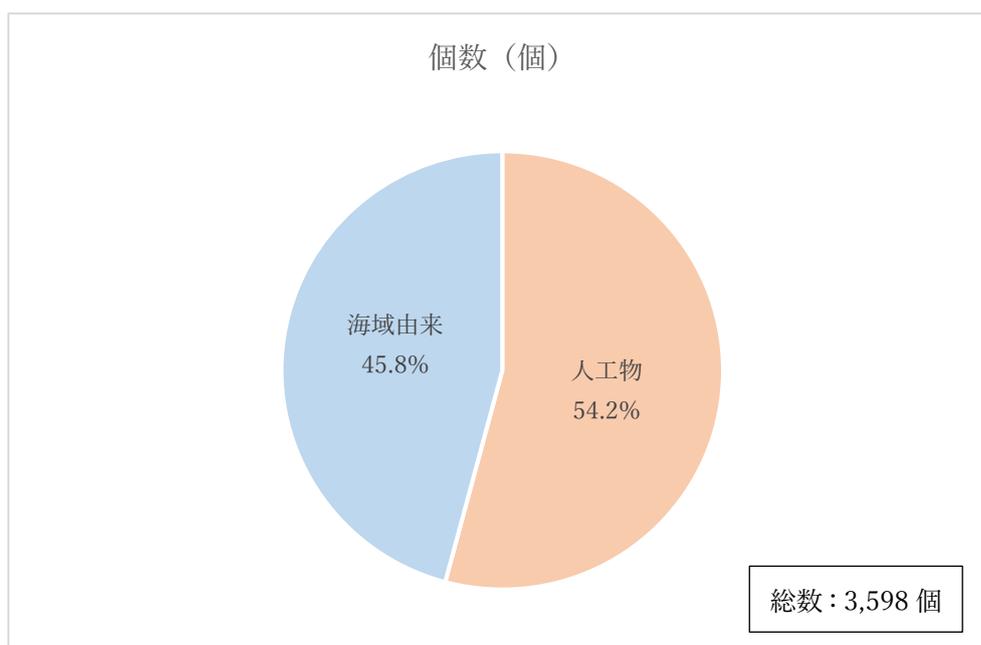


図 2.5.5-1 3分類別の組成比（個：％）

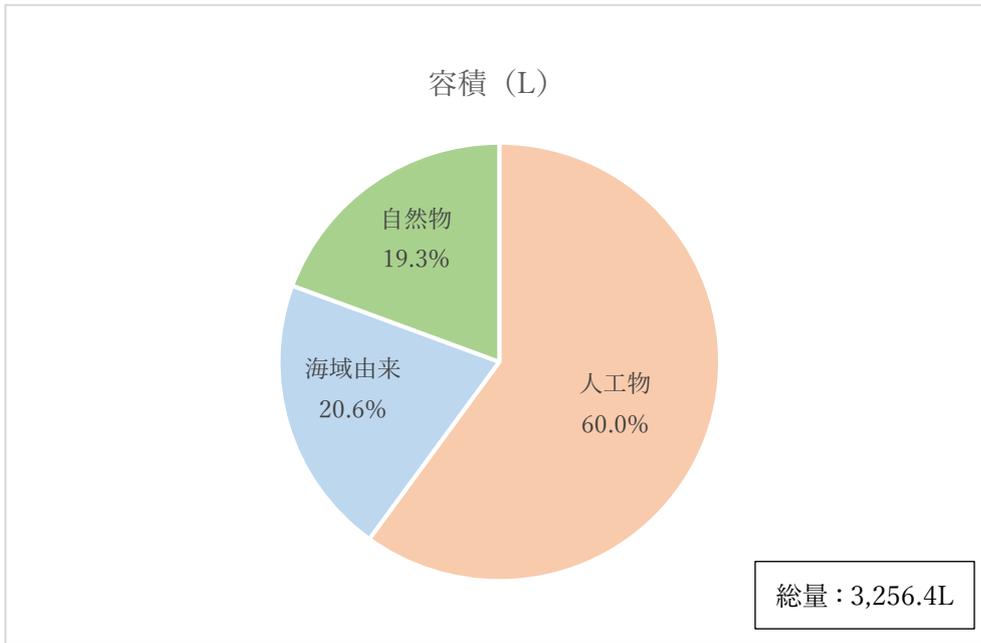


図 2.5.5-2 3 分類別の組成比 (L : %)

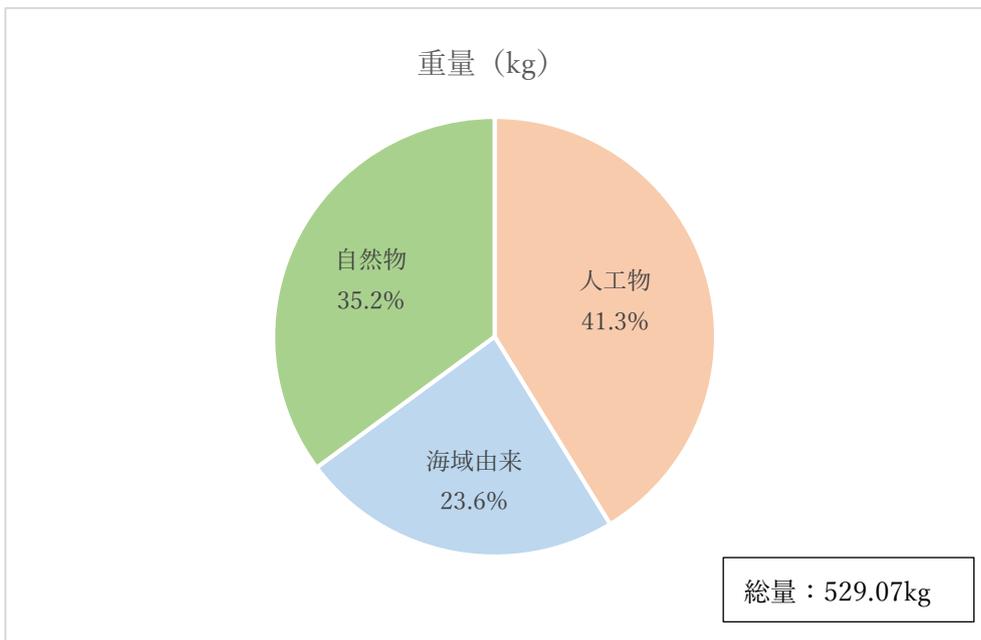


図 2.5.5-3 3 分類別の組成比 (kg : %)

## 2.5.6 ペットボトルのキャップ及びペットボトルの国別組成

言語表記等の調査により、国別に分類が可能であったペットボトルのキャップとペットボトル本体について環境省「漂着ごみ組成調査データシート（令和3年10月第3版）」の言語表記等調査のデータシート（図2.2-3）に基づき分類を行い、国ごとの組成を表2.5.6-1、組成比を表した円グラフを図2.5.6-1、図2.5.6-2に、国別に分類した状態の写真を写真2.5.6-1、写真2.5.6-2、写真2.5.6-3に示した。

なお、ここで扱うペットボトルのキャップとは、環境省「漂着ごみ組成調査データシート（令和3年10月第3版）」の漂着ごみデータシート②（図2.2-2）の分類項目「ボトルのキャップ・ふた」に分類されたものからペットボトルのキャップのみを選別したものである。

ペットボトルのキャップの個数の国別組成比を見ると、最も多いものが不明（378個、63.1%）であり、その次に韓国（63個、10.5%）、中国・台湾（57個、9.5%）、日本（53個、8.8%）と続く結果となった。

またペットボトル本体の個数の国別組成比では日本（24個、29.3%）が最も多く、次に中国・台湾（23個、28.0%）、不明（17個、20.7%）、韓国（15個、18.3%）と続いた。

表 2.5.6-1 ペットボトルのキャップ・ボトル本体の国別組成比

	ペットボトルのキャップ		ペットボトル	
	個数	%	個数	%
日本	53	8.8	24	29.3
中国・台湾	57	9.5	23	28.0
英語	48	8.0	3	3.7
韓国	63	10.5	15	18.3
不明	378	63.1	17	20.7
合計	599	100.0	82	100.0

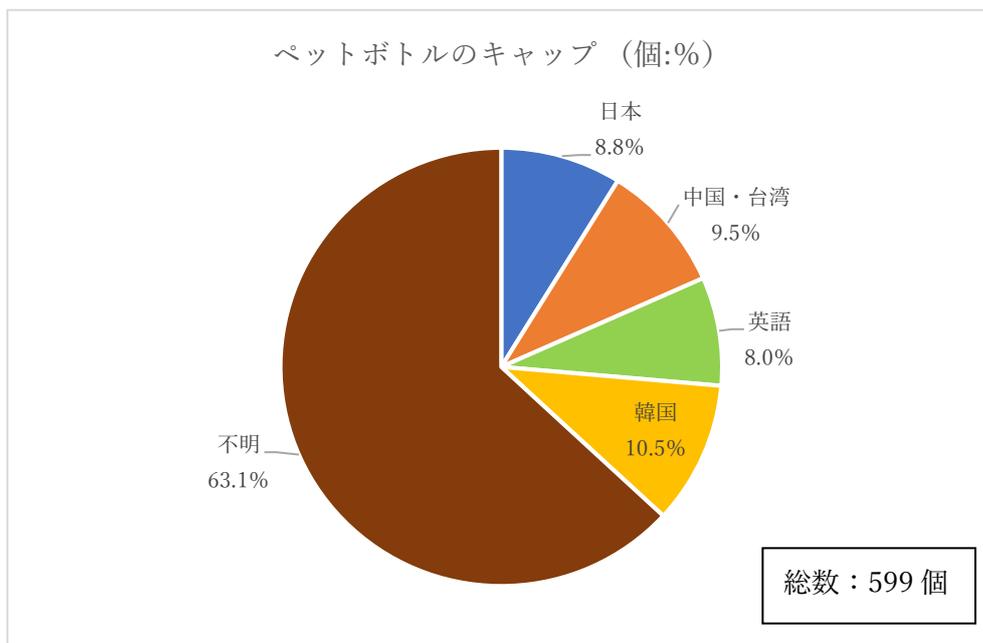


図 2.5.6-1 ペットボトルのキャップの国別組成比 (個：%)

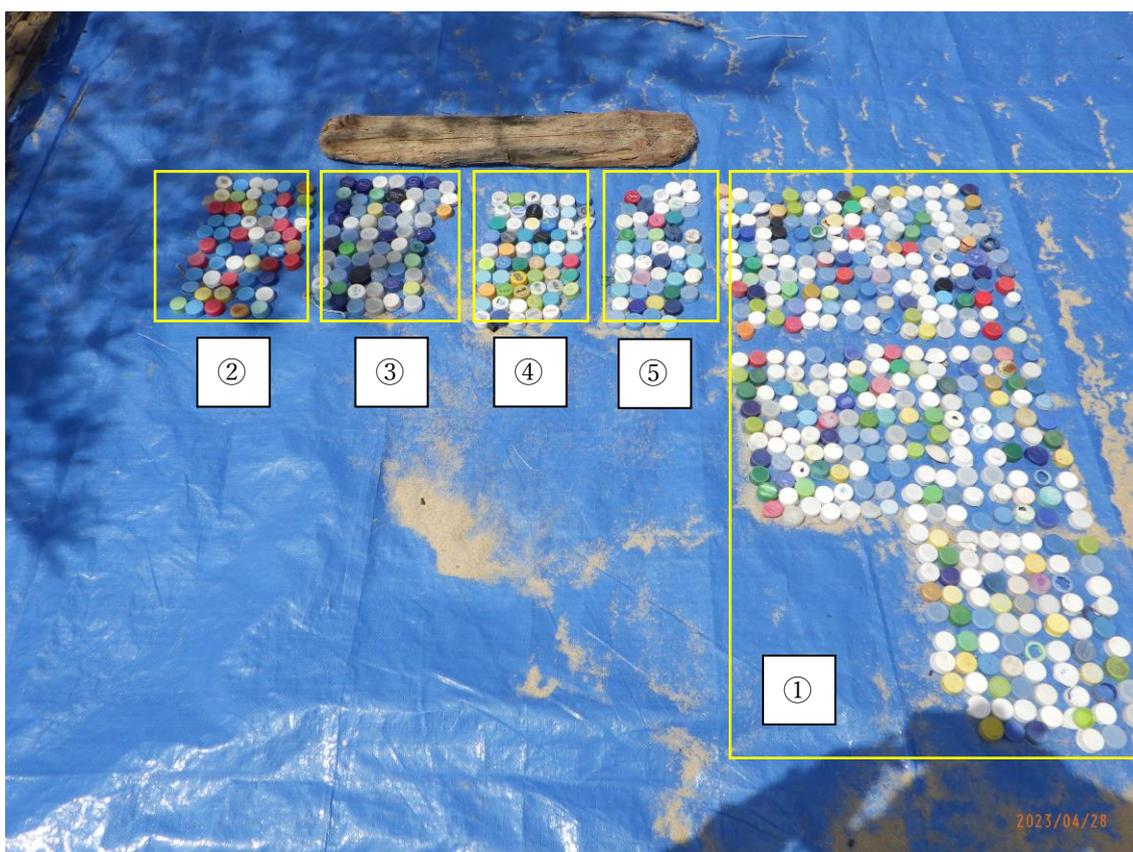


写真 2.5.6-1 ペットボトルのキャップの国別分類

① 不明 ②中国・台湾 ③韓国 ④日本 ⑤英語表記

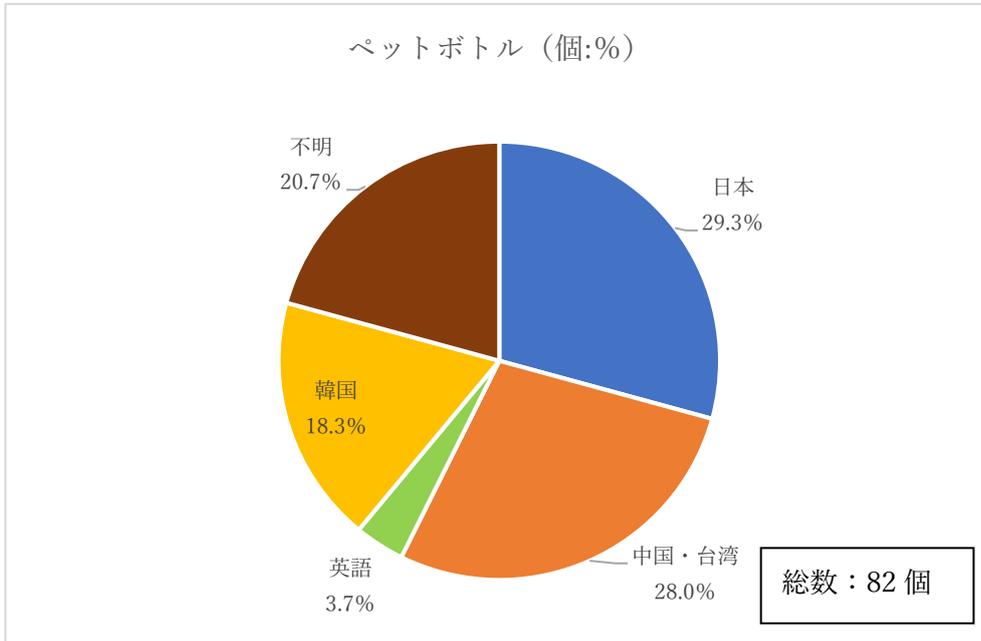


図 2.5.6-3 ペットボトルの国別組成比 (個 : %)

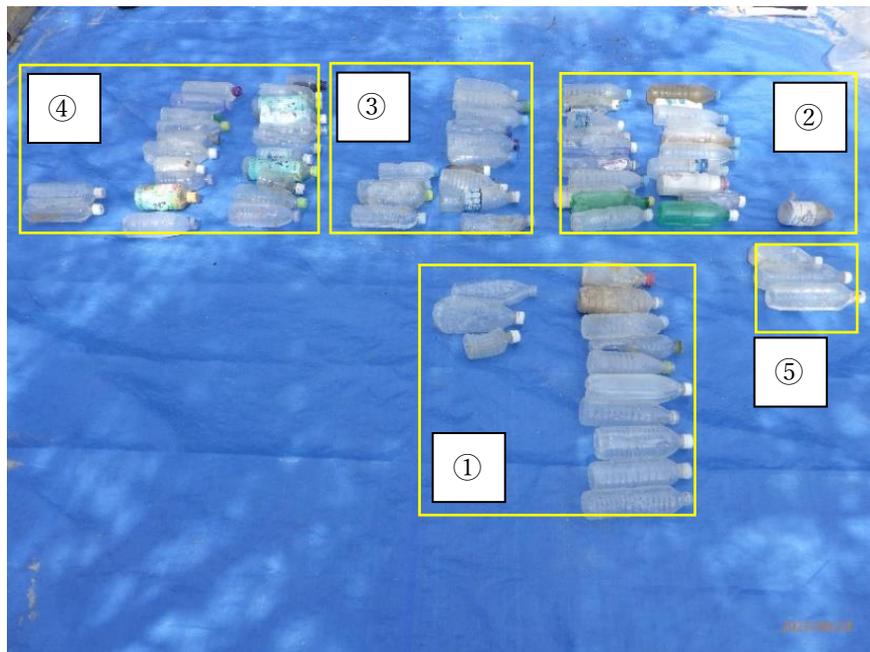


写真 2.5.6-2 ペットボトル ≤ 1L の国別の分類

① 不明 ②中国・台湾 ③韓国 ④日本 ⑤英語表記

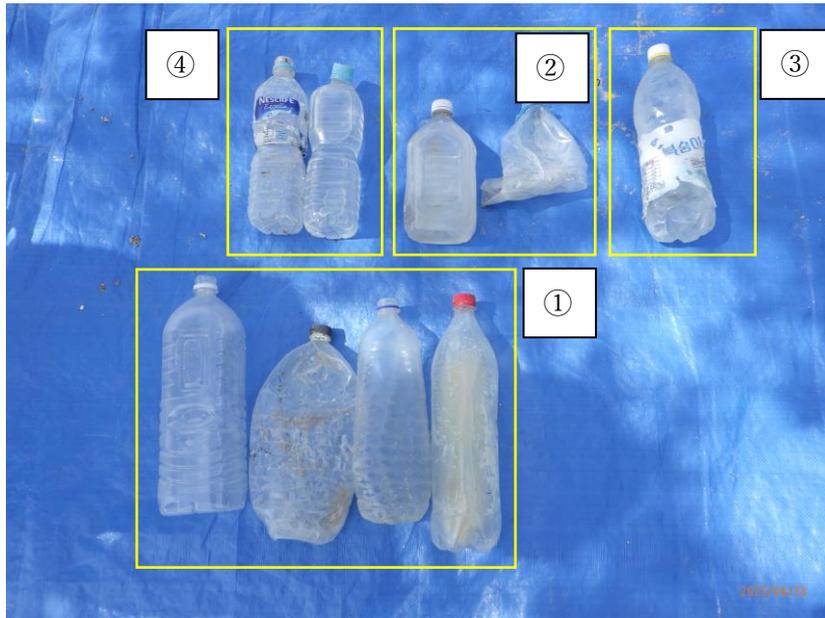


写真 2.5.6-3 ペットボトル>1L の国別の分類

① 不明 ②中国・台湾 ③韓国 ④日本

### 2.5.7 浮子（ブイ）の国別組成

硬質プラスチック及び発泡スチロール製の浮子（ブイ）の国別組成について、素材別の組成を表 2.5.7-1 に、国別の組成を表 2.5.7-2 に、国別の組成比を表した円グラフを図 2.5.7-1 に示した。また、国別に分類した状態の写真を写真 2.5.7-1 に示した。

素材別では、硬質プラスチック製が約 8 割、発泡スチロール製が約 2 割という結果になり、そのうち言語分類できたものはすべて硬質プラスチック製のものだった。

浮子（ブイ）の個数について国別組成比を見ると、不明（126 個、77.3%）が最も多く、次に中国・台湾（31 個、19.0%）、韓国（6 個、3.7%）が続き、英語表記、日本語表記のものは確認されなかった。

表 2.5.7-1 浮子（ブイ）集計結果

	個数		容積		重量	
	個	%	L	%	kg	%
硬質プラスチック製 浮子（ブイ）	135	82.8	200.2	83.3	28.22	95.5
発泡スチロール製フロート・浮子（ブイ）	28	17.2	40.0	16.7	1.32	4.5
合計	163	100.0	240.2	100.0	29.54	100.0

表 2.5.7-2 浮子（ブイ）の国別組成比（個数）

	浮子（ブイ）	
	個数	%
日本	0	0.0
中国・台湾	31	19.0
英語	0	0.0
韓国	6	3.7
不明	126	77.3
合計	163	100.0

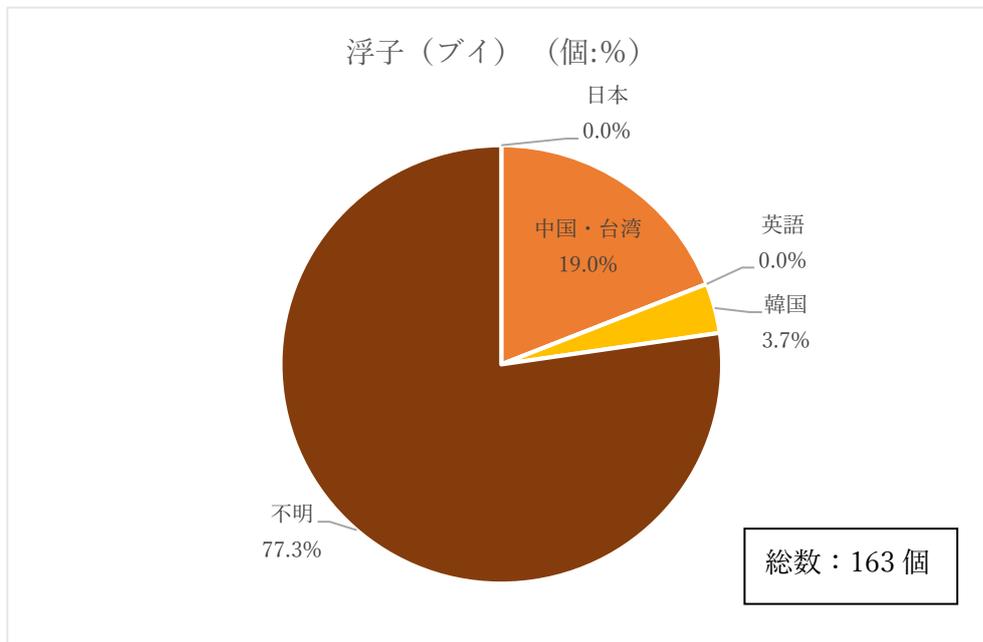


図 2.5.7-1 浮子（ブイ）の国別組成比（個：％）



写真 2.5.7-1 浮子（ブイ）の国別の分類

① 不明 ②中国・台湾 ③韓国

## 2.6 水晶浜におけるごみの傾向

水晶浜海水浴場において、大分類のうちプラスチックと発泡スチロールをあわせたプラスチックごみの組成比は個数が97.6%、容積が74.6%、重量が56.8%となり、プラスチックごみが多くを占めていた。(図2.5.3-1)

プラスチックごみの内訳について分析を行い傾向について検討するため、プラスチック類の個数、重量について、項目ごとに降順に並び替え、プラ分類別に色分けを行い図2.6-1、図2.6-2に示した。

なおプラ分類とはプラスチックの用途別に分類したもので、漂着ごみ組成調査データシート(令和3年10月第3版)の分類表(表2.2-1)に記載のプラ分類の項目をもとにした。

プラスチックの全個数は3,525個であった。最も個数が多いものは「ロープ・ひも(漁具)」(1,044個)で、次に個数が多かったのは「ボトルのキャップ、ふた」(964個)であった。

プラスチックの全重量は300.51kgであった。最も重量が重いものは「硬質プラスチック破片」(149.09kg)で、次に重いものは「ロープ、ひも(漁具)」(90.75kg)であった。

プラスチックのうち個数、重量ともに「ロープ・ひも(漁具)」、「浮子(ブイ)(漁具)」「その他プラボトル<1L」が、上位5項目に入る結果であった。

そのほかに個数では、「ボトルのキャップ、ふた」「カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)」が上位5項目に含まれていた。重量では、「硬質プラスチック破片」「その他のプラボトル類≧1L」が上位5項目に含まれていた。

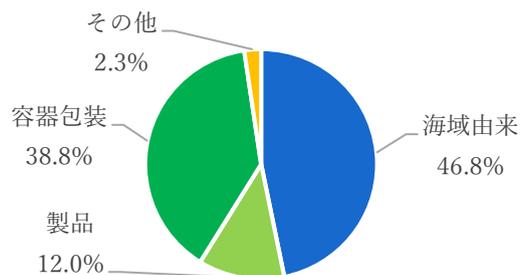
プラ分類でみると、個数において上位5位のうち3品目が海域由来であった。重量において上位5位のうち2品目が海域由来であった。個数、重量ともに海域由来が約4割を占めていた。

本年度の結果から、個数では海域由来が多く、重量ではそのほか組成の多くを占める結果であったが、海域由来は個数、重量ともに約4割を占める結果になった。

## プラスチックの種類別個数（個）



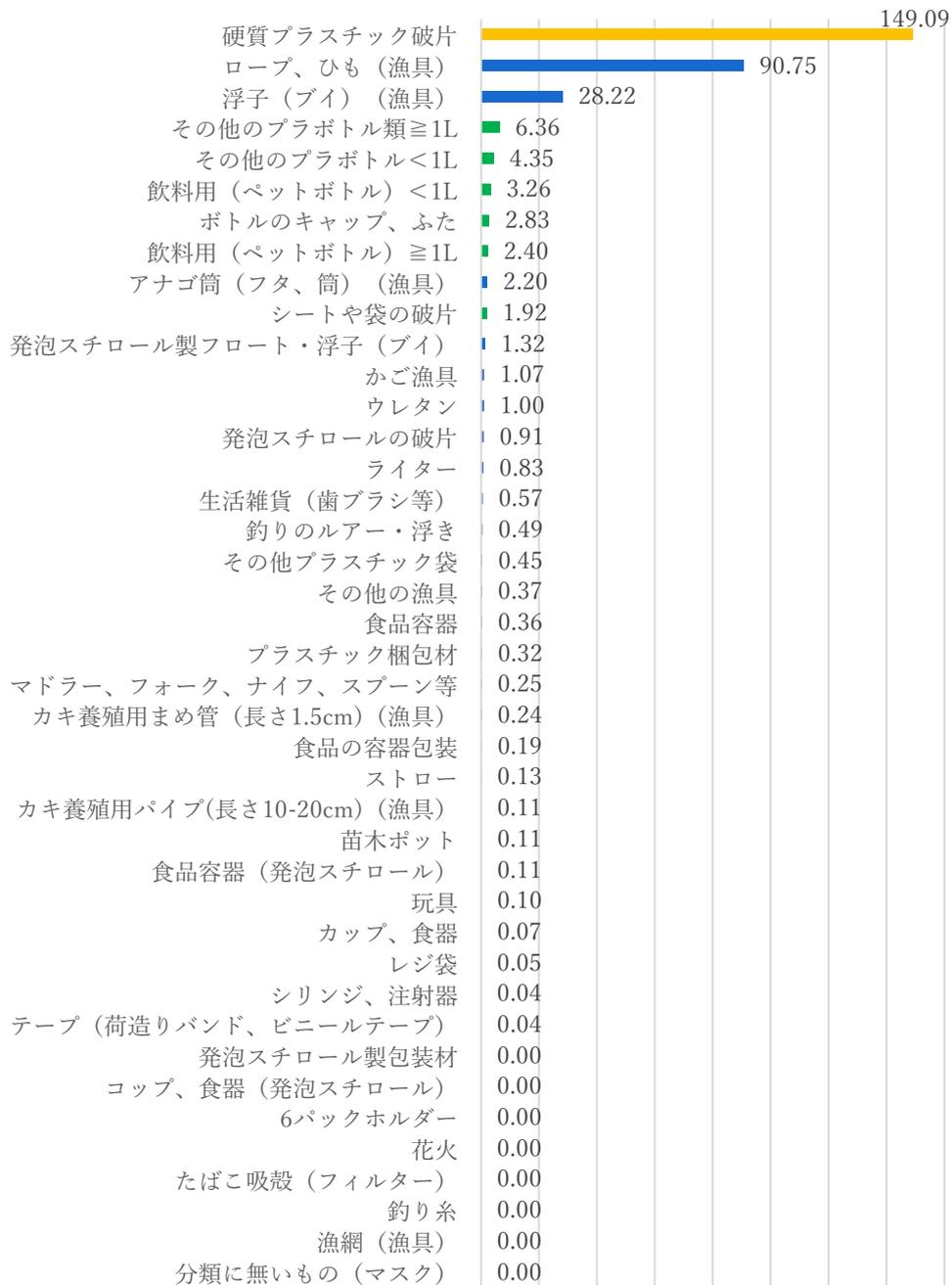
### プラ分類組成比 個数（個：％）



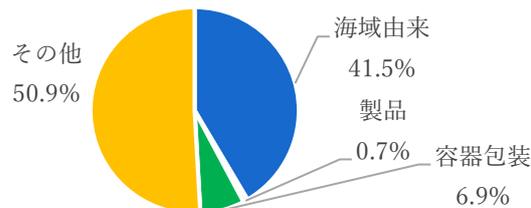
総数:3,525 個

図 2.6-1 上段：プラスチックの種類別個数（個）  
下段：プラスチックのプラ分類組成比 個数（個：％）

## プラスチックの種類別重量 (kg)



### プラ分類組成比 重量 (kg:%)



総量: 300.51kg

図 2.6-2 上段: プラスチックの種類別重量 (kg)

下段: プラスチックのプラ分類組成比 重量 (kg:%)

### 3. 過年度調査結果との比較

令和2年度、令和3年度、令和4年度、令和5年度の4か年の調査結果をもとに比較検討を行った。検討順序は、2.5 調査結果と同順である。

#### 3.1 調査結果の比較

比較のため同様の場所にて撮影した令和2年度から令和5年度の4か年の水晶浜海水浴場における海岸漂着物等調査実施前の様子を写真3.1-1に示した。写真3.1-1から令和5年度と比較すると、最も漂着物が多いのは令和3年度であることがわかる。

	③から海側	①から海側
令和2年度		
令和3年度	 ※福井県撮影資料	 ※福井県撮影資料
令和4年度	 ※福井県撮影資料	 ※福井県撮影資料
令和5年度	 ※福井県撮影資料	 ※福井県撮影資料

写真 3.1-1 海岸漂着物等の回収前の写真

### 3.1.1 大分類別調査結果の比較

令和2年度から令和5年度の調査結果を大分類別に個数、重量、容積について比較した結果を表3.1.1-1、表3.1.1-2、表3.1.1-3に示した。過年度結果は、各年度の報告書を参照した。なお、令和2年度の重量については報告書において小数点第一位までしか記載がなかったため、報告書の通りにした。

また、各年度の調査結果について個数、重量、容積別に集計したグラフを図3.1.1-1に示す。4か年において個数、容積、重量を比較すると、令和3年度が最も多くなるが令和3年度以降は減少傾向であることがわかる。

表 3.1.1-1 大分類別集計結果（個数）

	R2		R3		R4		R5	
	個	%	個	%	個	%	個	%
プラスチック	1,703	89.8	9,572	96.1	5,445	94.3	3,458	95.8
発泡スチロール	24	1.3	28	0.3	53	0.9	67	1.8
ゴム	37	2.0	92	0.9	120	2.1	20	0.5
ガラス、陶器	36	1.9	80	0.8	25	0.4	17	0.5
金属	20	1.1	38	0.4	11	0.2	6	0.2
紙、段ボール	4	0.2	22	0.2	0	0.0	0	0.0
天然繊維、革	0	0.0	50	0.5	5	0.1	0	0.0
木（木材等）	32	1.7	70	0.7	109	1.9	31	0.9
電化製品、電子機器	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
自然物	40	2.1	5	0.1	4	0.1	10	0.3
その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
総計	1,896	100.0	9,957	100.0	5,772	100.0	3,608	100.0

表 3.1.1-2 大分類別集計結果（容積）

	R2		R3		R4		R5	
	L	%	L	%	L	%	L	%
プラスチック	2,528.1	82.5	8,760.3	76.9	5,121.6	66.2	2,330.1	71.6
発泡スチロール	80.0	2.6	55.2	0.5	56.3	0.7	96.1	3.0
ゴム	30.4	1.0	169.0	1.5	16.1	0.2	31.5	1.0
ガラス、陶器	45.1	1.5	60.0	0.5	19.3	0.2	6.0	0.2
金属	5.8	0.2	9.0	0.1	1.2	0.0	2.8	0.1
紙、段ボール	0.2	0.0	4.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
天然繊維、革	0.0	0.0	10.0	0.1	0.9	0.0	0.0	0.0
木（木材等）	139.2	4.5	90.0	0.8	804.9	10.4	160.0	4.9
電化製品、電子機器	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自然物	234.6	7.7	2,238.9	19.6	1,714.6	22.2	630.0	19.3
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
総計	3,063.4	100.0	11,397.0	100.0	7,734.9	100.0	3,256.4	100.0

表 3.1.1-3 大分類別集計結果（重量）

	R2		R3		R4		R5	
	kg	%	kg	%	kg	%	kg	%
プラスチック	230.6	75.2	965.20	69.9	685.41	62.3	298.18	56.4
発泡スチロール	1.3	0.4	0.60	0.0	3.11	0.3	2.33	0.4
ゴム	6.9	2.2	18.60	1.3	6.34	0.6	6.27	1.2
ガラス、陶器	4.9	1.6	18.70	1.4	5.73	0.5	3.69	0.7
金属	1.6	0.5	4.10	0.3	0.24	0.0	0.46	0.1
紙、段ボール	0.0	0.0	1.70	0.1	0.00	0.0	0.00	0.0
天然繊維、革	0.0	0.0	3.70	0.3	0.16	0.0	0.00	0.0
木（木材等）	27.0	8.8	28.90	2.1	152.35	13.8	32.15	6.1
電化製品、電子機器	0.0	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0
自然物	34.4	11.2	339.60	24.6	246.77	22.4	185.98	35.2
その他	0.0	0.0	0.03	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0
総計	306.7	100.0	1,381.13	100.0	1,100.12	100.0	529.07	100.0



図 3.1.1-1 各年度の調査結果総量比較  
(左：個数、中央：容積、右：重量)

### 3.1.2 人工物別調査結果の比較

各年度の調査結果を人工物別に個数、重量、容積について比較した結果を図 3.1.2-1、図 3.1.2-2、図 3.1.2-3 に示した。4 か年全てにおいてプラスチックが 80%以上を占める結果となっており、各年度の総量は異なるが各項目の占める比率にも大きな変化はみられなかった。

	R2		R3		R4		R5	
	個	%	個	%	個	%	個	%
プラスチック	1,703	91.8	9,572	96.2	5,445	94.4	3,458	96.1
発泡スチロール	24	1.3	28	0.3	53	0.9	67	1.9
ゴム	37	2.0	92	0.9	120	2.1	20	0.5
ガラス、陶器	36	1.9	80	0.8	25	0.4	17	0.5
金属	20	1.1	38	0.4	11	0.2	6	0.2
紙、段ボール	4	0.2	22	0.2	0	0.0	0	0.0
天然繊維、革	0	0.0	50	0.5	5	0.1	0	0.0
木（木材等）	32	1.7	70	0.7	109	1.9	31	0.9
電化製品、電子機器	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
総計	1,856	100.0	9,952	100.0	5,768	100.0	3,598	100.0

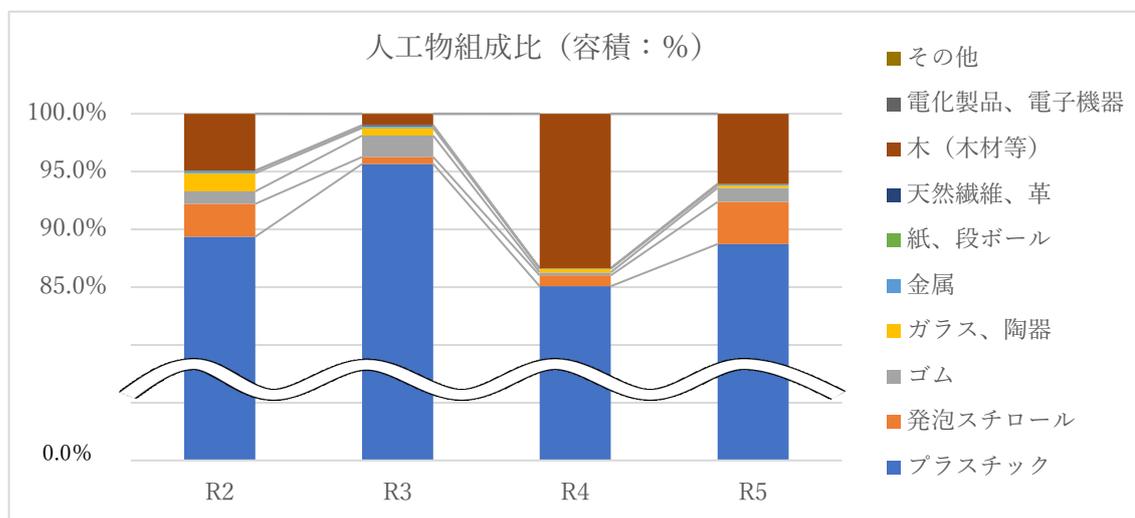


図 3.1.2-1 令和 2～5 年度人工物個数（内訳は上図に示す）

（プラスチック以外の組成比に着目するため、0～80%の範囲を一部省略して図化した）

	R2		R3		R4		R5	
	L	%	L	%	L	%	L	%
プラスチック	2,528.1	89.4	8,760.3	95.7	5,121.6	85.1	2,330.1	88.7
発泡スチロール	80.0	2.8	55.2	0.6	56.3	0.9	96.1	3.7
ゴム	30.4	1.1	169.0	1.8	16.1	0.3	31.5	1.2
ガラス、陶器	45.1	1.6	60.0	0.7	19.3	0.3	6.0	0.2
金属	5.8	0.2	9.0	0.1	1.2	0.0	2.8	0.1
紙、段ボール	0.2	0.0	4.6	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
天然繊維、革	0.0	0.0	10.0	0.1	0.9	0.0	0.0	0.0
木（木材等）	139.2	4.9	90.0	1.0	804.9	13.4	160.0	6.1
電化製品、電子機器	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
総計	2,828.8	100.0	9,158.1	100.0	6,020.3	100.0	2,626.4	100.0

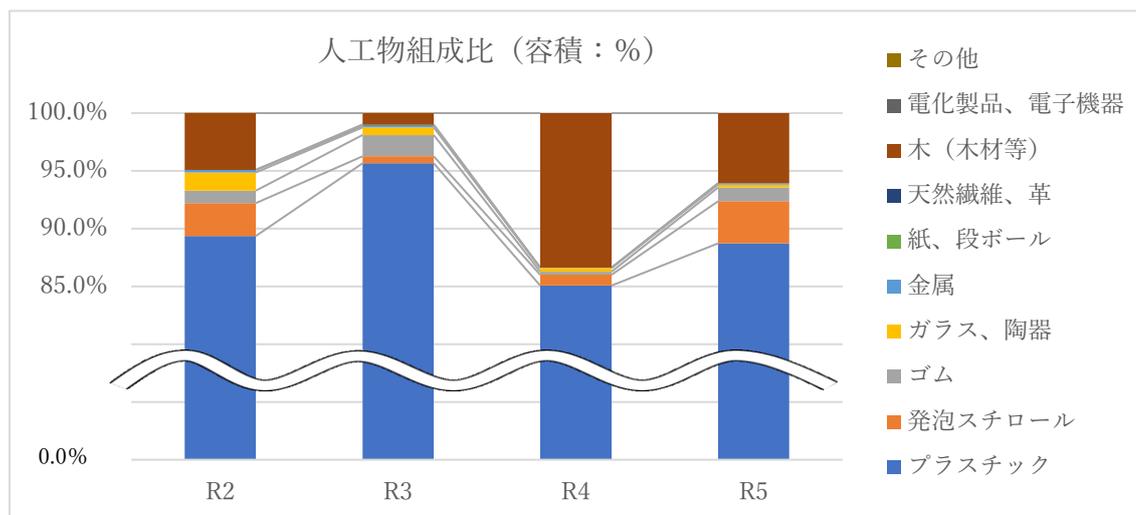


図 3.1.2-2 令和 2～5 年度人工物容積の年度別組成比（L：％）（内訳は上図に示す）

（プラスチック以外の組成比に着目するため、0～80%の範囲を一部省略して図化した）

	R2		R3		R4		R5	
	kg	%	kg	%	kg	%	kg	%
プラスチック	230.6	84.68	965.20	92.67	685.41	80.32	298.18	86.91
発泡スチロール	1.3	0.48	0.60	0.06	3.11	0.36	2.33	0.68
ゴム	6.9	2.53	18.60	1.79	6.34	0.74	6.27	1.83
ガラス、陶器	4.9	1.80	18.70	1.80	5.73	0.67	3.69	1.08
金属	1.6	0.59	4.10	0.39	0.24	0.03	0.46	0.13
紙、段ボール	0.0	0.00	1.70	0.16	0.00	0.00	0.00	0.00
天然繊維、革	0.0	0.00	3.70	0.36	0.16	0.02	0.00	0.00
木（木材等）	27.0	9.91	28.90	2.77	152.35	17.85	32.15	9.37
電化製品、電子機器	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他	0.0	0.01	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
総計	272.3	100.00	1,041.53	100.00	853.34	100.00	343.09	100.00

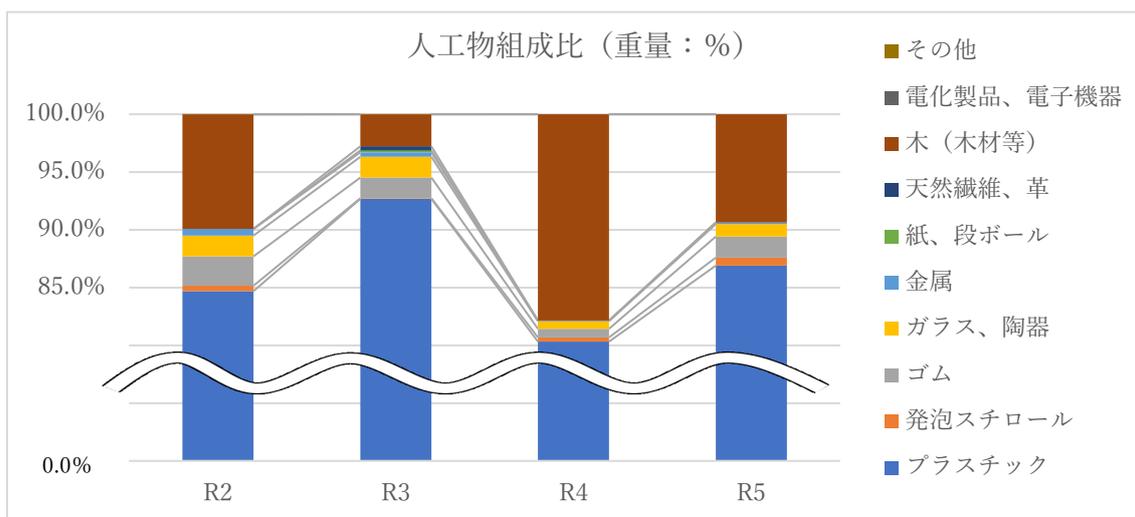
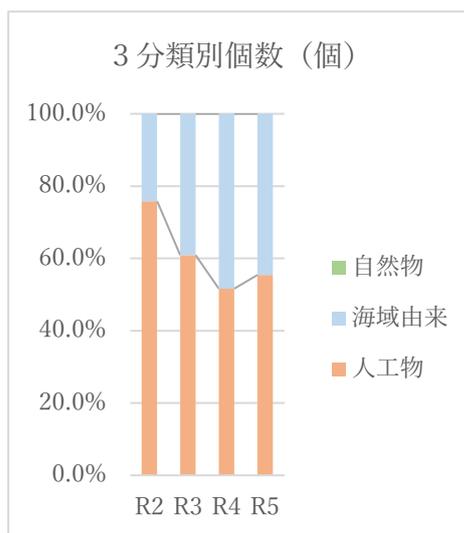


図 3.1.2-3 令和 2～5 年度人工物重量の年度別組成比（kg：％）（内訳は上図に示す）  
（プラスチック以外の組成比に着目するため、0～80%の範囲を一部省略して図化した）

### 3.1.3 3分類別調査結果の比較

各年度の調査結果を3分類別に個数、重量、容積について比較した結果を図3.1.3-1、図3.1.3-2、図3.1.3-3に示した。

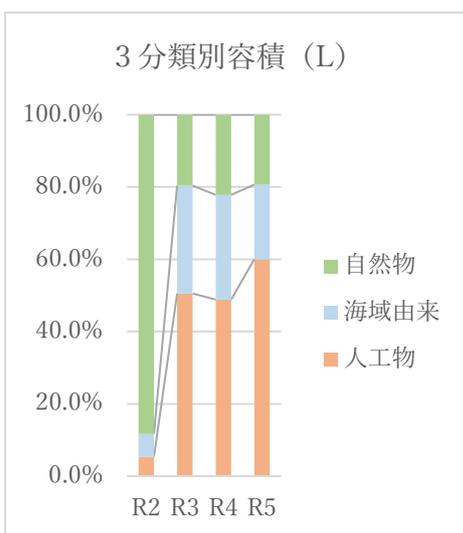
個数において、総量は変化しているが組成の比率は同様の傾向がみられた。容積、重量において、自然物の割合が令和2年度のみ高くみられた。また、令和3年度以降、総量は変化しているが組成の比率では同様の傾向がみられた。



	個				%			
	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
人工物	304	6,059	2,978	1,949	75.8	60.9	51.6	54.2
海域由来	97	3,893	2,790	1,649	24.2	39.1	48.4	45.8
自然物								
合計	401	9,952	5,768	3,598	100.0	100.0	100.0	100.0

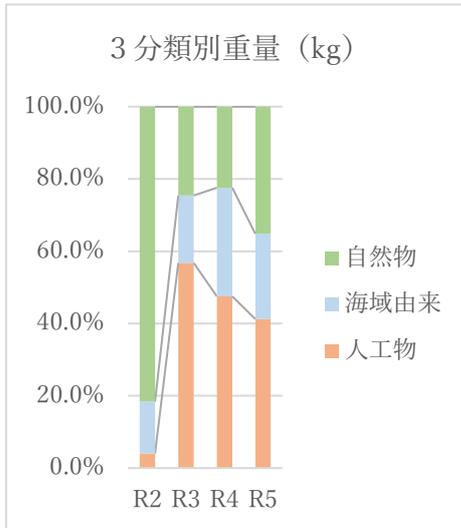
図 3.1.3-1 令和2～5年度3分類別個数組成比 (個：%) (内訳は右図に示す)

(※自然物に含まれる灌木はカウントしないため、自然物の個数を不明とした)



	容積				%			
	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
人工物	78.5	5,760.2	3,781.0	1,954.4	5.4	50.5	48.9	60.0
海域由来	92.3	3,398.0	2,239.3	672.0	6.3	29.8	29.0	20.6
自然物	1,292.7	2,238.9	1,714.6	630.0	88.3	19.6	22.2	19.3
合計	1,463.4	11,397.0	7,734.9	3,256.4	100.0	100.0	100.0	100.0

図 3.1.3-2 令和2～5年度3分類別容量組成比 (L：%) (内訳は右図に示す)

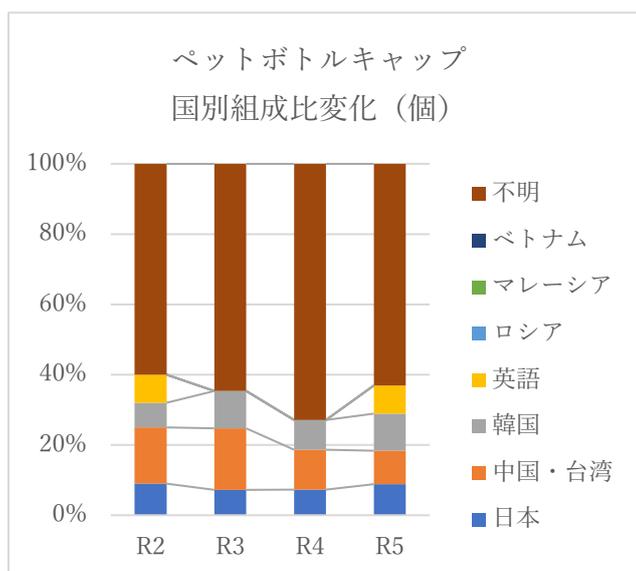


	重量				%			
	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
人工物	22.8	783.95	522.52	218.32	4.07	56.8	47.5	41.3
海域由来	80.4	257.49	330.82	124.77	14.35	18.6	30.1	23.6
自然物	457.0	339.56	246.77	185.98	81.58	24.6	22.4	35.2
合計	560.2	1,381.00	1,100.11	529.07	100.00	100.0	100.0	100.0

図 3.1.3-3 令和 2～5 年度 3 分類別容量組成比 (kg : %) (内訳は上図に示す)

### 3.1.4 ペットボトルのキャップ、ペットボトル、浮子（ブイ） 国別調査結果の比較

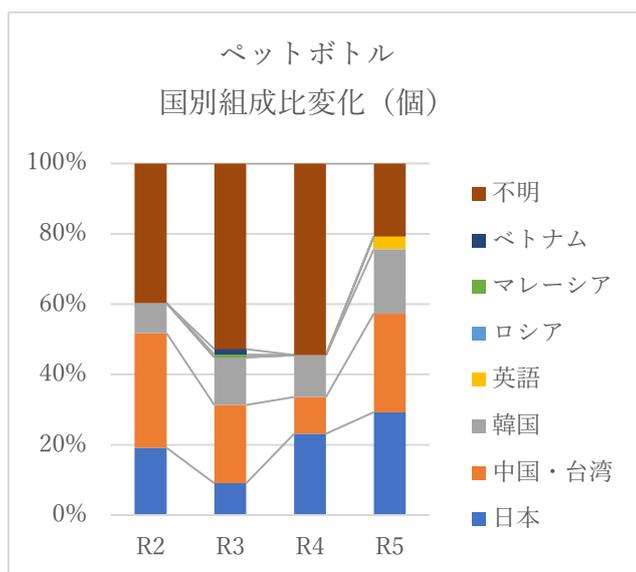
各年度の調査結果をペットボトルのキャップ、ペットボトル、浮子（ブイ）の国別に個数について比較した結果を図 3.1.4-1、図 3.1.4-2、図 3.1.4-3 に示した。ペットボトルのキャップ、ペットボトル、浮子（ブイ）ともに令和 3 年度が最も多くみられたが、組成比では 4 か年を通して概ね同様の結果であった。また、令和 5 年度における浮子（ブイ）の総量は、漂着量が多かった令和 3 年度の個数と同程度の数であった。



	個数				%			
	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
日本	9	76	33	53	9.0	7.2	7.3	8.8
中国・台湾	16	184	51	57	16.0	17.5	11.3	9.5
韓国	7	112	38	63	7.0	10.6	8.4	10.5
英語	8	0	0	48	8.0	0.0	0.0	8.0
ロシア	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
マレーシア	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
ベトナム	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
不明	60	680	328	378	60.0	64.6	72.9	63.1
総計	100	1,052	450	599	100.0	100.0	100.0	100.0

図 3.1.4-1 令和 2～5 年度ペットボトルキャップの国別個数組成比（個：％）

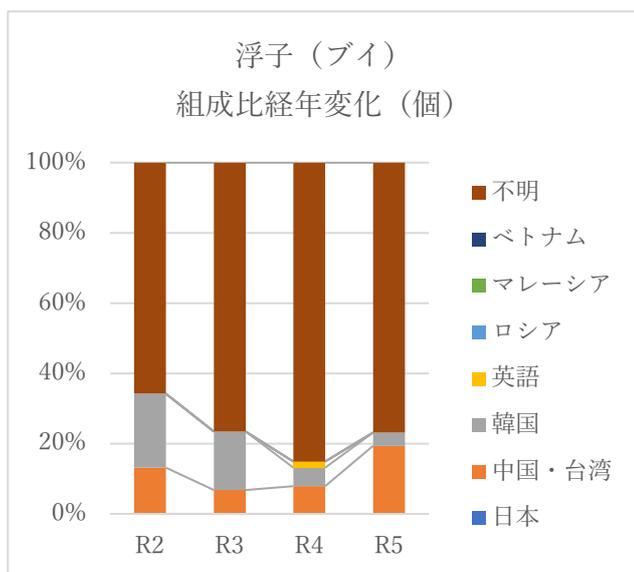
（内訳は右図に示す）



	個数				%			
	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
日本	27	48	31	24	19.1	9.1	23.1	29.3
中国・台湾	46	118	14	23	32.6	22.3	10.4	28.0
韓国	12	72	16	15	8.5	13.6	11.9	18.3
英語	0	0	0	3	0.0	0.0	0.0	3.7
ロシア	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
マレーシア	0	4	0	0	0.0	0.8	0.0	0.0
ベトナム	0	8	0	0	0.0	1.5	0.0	0.0
不明	56	280	73	17	39.7	52.8	54.5	20.7
総計	141	530	134	82	100.0	100.0	100.0	100.0

図 3.1.4-2 令和 2～5 年度ペットボトルの国別個数組成比（個：％）

（内訳は右図に示す）



	個数				%			
	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
日本	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
中国・台湾	5	11	9	31	13.2	6.8	7.9	19.0
韓国	8	27	6	6	21.1	16.7	5.3	3.7
英語	0	0	2	0	0.0	0.0	1.8	0.0
ロシア	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
マレーシア	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
ベトナム	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
不明	25	124	97	126	65.8	76.5	85.1	77.3
総計	38	162	114	163	100.0	100.0	100.0	100.0

図 3.1.4-3 令和 2～5 年度浮子（ブイ）の年度別国別個数組成比（個：％）

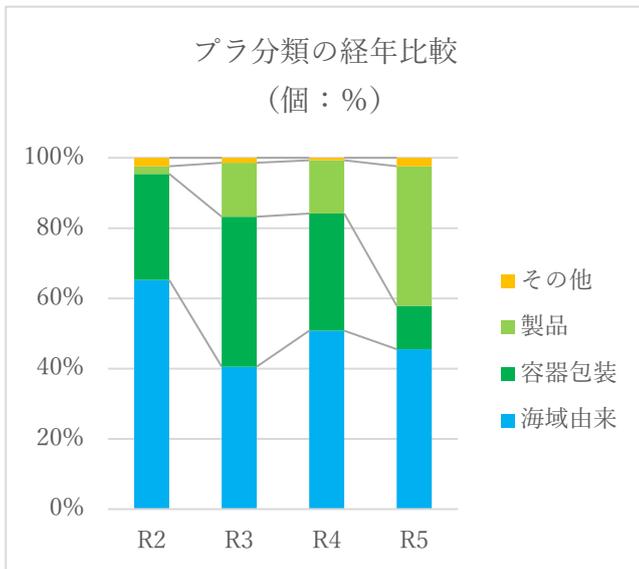
（内訳は右図に示す）

### 3.1.5 プラ分類別調査結果の比較

各年度の調査結果のプラ分類別の個数、重量の分類について比較した結果を図 3.1.5-1、図 3.1.5-2 に示した。なお、プラ分類とは、プラスチックの用途別に分類したもので、環境省「漂着ごみ組成調査データシート（令和 3 年 10 月 第 3 版）」漂着ごみの分類表（図 2.1.2-2）に従って分類をおこなった。

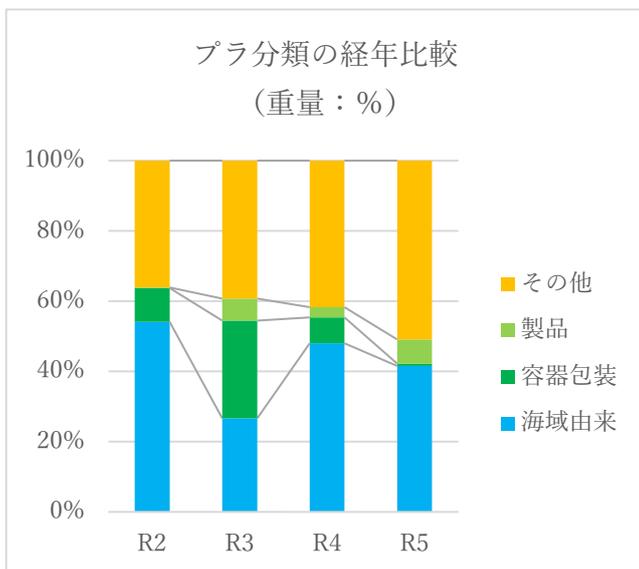
図 3.1.5-1 に示した個数によるプラ分類では、令和 2 年度以来、製品の割合の増加がみられた。容器包装は個数、重量において令和 3 年度以来、減少傾向がみられた（図 3.1.5-1、図 3.1.5-2）。

次に、令和 4 年度と令和 5 年度のプラスチック類の組成比の変化を比較するため、組成比における比率の増減を個数、重量について求め、表 3.1.5-1、表 3.1.5-2 に示した。個数では「ロープ・ひも（漁具）」、「テープ（荷造りバンド、ビニールテープ）」、「その他プラスチック袋」などの割合が減少し、「ボトルのキャップ、ふた」、「カキ養殖用まめ管（長さ 1.5cm）」、「浮子（ブイ）（漁具）」、「ウレタン」、「釣りのルアー、浮き」などの割合の増加が見られた。重量では「漁網（漁具）」などの割合が減少し、「硬質プラスチック破片」、「ロープ・ひも（漁具）」、「浮子（ブイ）（漁具）」などの割合の増加が見られた。



	個数				%			
	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
海域由来	1,126	3,893	2,790	1,569	65.2	40.6	50.7	45.6
容器包装	38	1,473	832	424	30.2	42.7	33.4	12.3
製品	522	4,098	1,837	1,369	2.2	15.3	15.1	39.7
その他	41	136	39	83	2.4	1.4	0.7	2.4
合計	1,727	9,600	5,498	3,445	100.0	100.0	100.0	100.0

図 3.1.5-1 令和 2~5 年度プラ分類別個数組成比 (個：%) (内訳は右図に示す)



	重量				%			
	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
海域由来	125.5	257.49	330.82	124.77	54.1	26.7	48.0	41.5
容器包装	0.4	61.28	20.28	2.15	9.6	27.8	7.3	0.7
製品	22.3	268.17	50.16	20.68	0.2	6.3	2.9	6.9
その他	83.7	378.80	287.26	152.92	36.1	39.2	41.7	50.9
合計	231.9	965.74	688.52	300.51	100.0	100.0	100.0	100.0

図 3.1.5-2 令和 2~5 年度プラ分類別重量組成比 (重量 kg：%) (内訳は右図に示す)

表 3.1.5-1 令和4年度・令和5年度のプラスチック類の組成比（個数）

（差分（％）の降順）

分類項目（プラスチック）	個数(個)					
	R4 (個)	R5 (個数)	差分 (個)	R4 (%)	R5 (%)	差分 (%)
ボトルのキャップ、ふた	1,100	964	-136	20.2	27.9	7.7
カキ養殖用まめ管（長さ1.5cm）（漁具）	182	220	38	3.3	6.4	3.0
浮子（ブイ）（漁具）	108	135	27	2.0	3.9	1.9
ウレタン	39	83	44	0.7	2.4	1.7
釣りのルアー・浮き	19	63	44	0.3	1.8	1.5
ライター	62	77	15	1.1	2.2	1.1
食品容器	10	44	34	0.2	1.3	1.1
プラスチック梱包材	0	36	36	0.0	1.0	1.0
マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	99	88	-11	1.8	2.5	0.7
ストロー	159	116	-43	2.9	3.4	0.4
カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)（漁具）	5	12	7	0.1	0.3	0.3
シリンジ、注射器	3	7	4	0.1	0.2	0.1
食品の容器包装	47	33	-14	0.9	1.0	0.1
飲料用（ペットボトル）≧1L	10	9	-1	0.2	0.3	0.1
レジ袋	3	4	1	0.1	0.1	0.1
釣り糸	0	0	0	0.0	0.0	0.0
たばこ吸殻（フィルター）	0	0	0	0.0	0.0	0.0
花火	0	0	0	0.0	0.0	0.0
6パックホルダー	0	0	0	0.0	0.0	0.0
その他の漁具（タコ壺）	2	1	-1	0.0	0.0	0.0
その他のプラボトル類≧1L	39	24	-15	0.7	0.7	0.0
苗木ポット	10	4	-6	0.2	0.1	-0.1
漁網（漁具）	4	0	-4	0.1	0.0	-0.1
生活雑貨（歯ブラシ等）	101	60	-41	1.9	1.7	-0.1
その他1（マスク）	10	1	-9	0.2	0.0	-0.2
飲料用（ペットボトル）<1L	124	73	-51	2.3	2.1	-0.2
分類に無いもの（衣類）	10	0	-10	0.2	0.0	-0.2
玩具	23	7	-16	0.4	0.2	-0.2
その他2（パイプ）	28	0	-28	0.5	0.0	-0.5
カップ、食器	62	1	-61	1.1	0.0	-1.1
その他のプラボトル<1L	291	132	-159	5.3	3.8	-1.5
かご漁具	215	80	-135	3.9	2.3	-1.6
アナゴ筒（フタ、筒）（漁具）	208	67	-141	3.8	1.9	-1.9
その他プラスチック袋	166	11	-155	3.0	0.3	-2.7
テープ（荷造りバンド、ビニールテープ）	265	63	-202	4.9	1.8	-3.1
ロープ、ひも（漁具）	2,040	1,044	-996	37.5	30.2	-7.3
合計	5,444	3,458	-1,986	100.0	63.5	

表 3.1.5-2 令和4年度・令和5年度のプラスチック類の組成比（重量）

（差分（％）の降順）

分類項目（プラスチック）	重量（kg）					
	R4 （kg）	R5 （kg）	差分 （kg）	R4 （％）	R5 （％）	差分 （％）
硬質プラスチック破片	286.50	149.09	-137.41	41.8	50.0	8.2
ロープ、ひも（漁具）	170.85	90.75	-80.10	24.9	30.4	5.5
浮子（ブイ）（漁具）	33.70	28.22	-5.48	4.9	9.5	4.5
シートや袋の破片	0.00	1.92	1.92	0.0	0.6	0.6
その他のプラボトル類≧1L	11.30	6.36	-4.94	1.6	2.1	0.5
ウレタン	0.13	1.00	0.87	0.0	0.3	0.3
ボトルのキャップ、ふた	4.52	2.83	-1.69	0.7	0.9	0.3
飲料用（ペットボトル）≧1L	4.10	2.40	-1.70	0.6	0.8	0.2
ライター	0.65	0.83	0.18	0.1	0.3	0.2
釣りのルアー・浮き	0.18	0.49	0.31	0.0	0.2	0.1
プラスチック梱包材	0.00	0.32	0.32	0.0	0.1	0.1
食品容器	0.23	0.36	0.13	0.0	0.1	0.1
カキ養殖用まめ管（長さ1.5cm）（漁具）	0.09	0.24	0.15	0.0	0.1	0.1
マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	0.26	0.25	-0.01	0.0	0.1	0.0
その他の漁具（タコ壺）	0.60	0.37	-0.23	0.1	0.1	0.0
ストロー	0.10	0.13	0.03	0.0	0.0	0.0
苗木ポット	0.05	0.11	0.06	0.0	0.0	0.0
レジ袋	0.03	0.05	0.03	0.0	0.0	0.0
シリンジ、注射器	0.03	0.04	0.01	0.0	0.0	0.0
生活雑貨（歯ブラシ等）	1.30	0.57	-0.73	0.2	0.2	0.0
釣り糸	0.00	0.00	0.00	0.0	0.0	0.0
たばこ吸殻（フィルター）	0.00	0.00	0.00	0.0	0.0	0.0
花火	0.00	0.00	0.00	0.0	0.0	0.0
6パックホルダー	0.00	0.00	0.00	0.0	0.0	0.0
その他1（マスク）	0.05	0.00	-0.05	0.0	0.0	0.0
食品の容器包装	0.65	0.19	-0.46	0.1	0.1	0.0
玩具	0.68	0.10	-0.58	0.1	0.0	-0.1
カップ、食器	0.75	0.07	-0.68	0.1	0.0	-0.1
かご漁具	3.15	1.07	-2.08	0.5	0.4	-0.1
テープ（荷造りバンド、ビニールテープ）	1.64	0.04	-1.60	0.2	0.0	-0.2
その他プラスチック袋	2.63	0.45	-2.17	0.4	0.2	-0.2
分類に無いもの（衣類）	1.82	0.00	-1.82	0.3	0.0	-0.3
その他のプラボトル<1L	12.78	4.35	-8.43	1.9	1.5	-0.4
アナゴ筒（フタ、筒）（漁具）	11.05	2.20	-8.85	1.6	0.7	-0.9
飲料用（ペットボトル）<1L	13.85	3.26	-10.59	2.0	1.1	-0.9
カキ養殖用パイプ（長さ10-20cm）（漁具）	7.00	0.11	-6.89	1.0	0.0	-1.0
その他2（パイプ）	12.95	0.00	-12.95	1.9	0.0	-1.9
漁網（漁具）	101.80	0.00	-101.80	14.9	0.0	-14.9
合計	685.41	298.18	-387.23	100.00	100.0	

### 3.2 ヒアリング調査

水晶浜における海岸漂着物の状況の要因についての検討のため、下記の項目についてヒアリング調査をおこなった。

- ・例年と比較した今年のごみの状況
- ・漂着ごみが多く溜まり始める時期
- ・気象海象の影響
- ・清掃活動

調査は、美浜町役場住民環境課、美浜町役場観光誘客課、若狭美浜観光協会、竹波観光協会、敦賀海上保安部への電話によるヒアリングを行った。表 3.2 に聞き取りができた範囲で取りまとめた内容を記載する。過年度の清掃の有無などの状況についても含めて検討するために、今回の調査に加え令和 2 年度、令和 3 年度、令和 4 年度分のヒアリング結果もあわせてまとめた。

表 3.2 ヒアリング調査結果

ヒアリング項目	回答
例年と比較した今年のごみの状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例年並み、すこし少ない印象。</li> <li>・漂着物の変化については、特になし。</li> </ul>
漂着ごみが多く溜まり始める時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・変化は特になし。例年 12 月頃から漂着が増え、3 月中旬頃までの期間でごみが多くなる。3 月頃に最もごみが多くなり、海象が落ち着く 4 月頃から清掃が実施され、ごみが減っていく。</li> </ul>
気象海象の影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水晶浜では風向き、潮の流れによってごみが溜まりやすくなってしまふのだと思う。</li> <li>特に、影響を受けるのが調査区域周辺部分と思われる。</li> <li>・通常の波が高い時でも、ごみが溜まっている階段状護岸際まで到達している。</li> <li>[特に海が荒れた回数] <ul style="list-style-type: none"> <li>・ R3 2、3 回くらい。</li> <li>・ R4 1 回くらい。</li> </ul> </li> </ul>
清掃活動	<p>〈令和 2 年〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6 月 美浜町住民環境課による清掃の実施。</li> <li>・ 美浜町観光戦略課と関係団体による清掃の中止。</li> <li>・ 海水浴場の開設中止。地元の方々による清掃活動もあまり実施されていなかったと思われる。</li> </ul>

	<p>〈令和3年〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月頃から地元の方々により清掃活動実施。</li> <li>・5、6月頃 美浜町役場担当課、竹波区にて清掃を実施。</li> </ul> <p>〈令和4年〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年の夏は海水浴場を開設、海水浴のシーズン後は令和4年の4月まで清掃を行っていない。ただし地元住民の方々により時々清掃がされていた可能性はある。</li> <li>・4月以降 ・県外からのボランティアなどによる清掃活動、サーファーによる清掃活動を実施。</li> <li>・美しい浜プロジェクト ボランティアによる清掃。</li> <li>・美浜町による一斉清掃。</li> <li>・5月 美浜中学校によるふるいを使ったプラスチック採集や清掃の実施。</li> </ul> <p>〈令和5年〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年の夏は海水浴場を開設、海水浴のシーズン後は令和5年の4月まで清掃を行っていない。</li> <li>・4月 美しい浜プロジェクト ボランティアによる清掃。(参加者：300名程度)</li> <li>・美浜町による一斉清掃。</li> <li>・6月 クリーンザシーキャンペーン 清掃イベント。(参加者見込み：100-150名程度)</li> </ul>
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 3.3 降水量・風速・風向の比較

3.2 ヒアリング調査により、冬季にごみが漂着することが推測される。そのため、調査が実施された令和2年度（2020年度）から令和5年度（2023年度）の冬季、春季（12月～翌4月）の降水量と風速風向について気象庁の観測結果を用いて比較を行った。

過去4年間の12月～翌4月の降水量を表3.3-1及び図3.3-1に、風速風向については表3.3-2及び図3.3-2に示した。

降水量については、各年度とも12月から3月上旬ごろまで50mmを超える降雨が見られる。その後、50mmを超える降雨はなく、次第に降水量が少なくなっている。

風速については、各年度ともに冬季（12月～2月）は南西の風であったが春季（3月～4月）は北北西の風へと風向が変化している。風量は、各年度とも同程度であった。4か年ともに、降雨時期、風向風量について大きな変化はみられなかった。

※1 雨、風の強さの表現については、気象庁ホームページ「予報用語」を参照した。

([https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/yougo\\_hp/mokuji.html](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/yougo_hp/mokuji.html))

※2 季節区分については、気象庁ホームページ「予報用語」を参照した。

([https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/yougo\\_hp/toki.html](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/yougo_hp/toki.html))

表 3.3-1 過去 4 年間（2020 年度～2023 年度）12 月～4 月における  
美浜観測所の日合計降水量

（参照：気象庁 HP 「過去の気象データ」 <https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/>）

2020年度 12月-2月	降水量(mm) (日合計)	2021年度 12月-2月	降水量(mm) (日合計)	2022年度 12月-2月	降水量(mm) (日合計)	2023年度 12月-2月	降水量(mm) (日合計)
2019/12/1	0.0	2020/12/1	5.0	2021/12/1	31.0	2022/12/1	15.5
2019/12/2	18.5	2020/12/2	0.0	2021/12/2	16.5	2022/12/2	33.5
2019/12/3	6.0	2020/12/3	8.5	2021/12/3	0.0	2022/12/3	0.0
2019/12/4	13.5	2020/12/4	1.5	2021/12/4	19.5	2022/12/4	3.0
2019/12/5	39.0	2020/12/5	0.0	2021/12/5	0.0	2022/12/5	1.0
2019/12/6	19.0	2020/12/6	0.0	2021/12/6	4.5	2022/12/6	3.5
2019/12/7	0.5	2020/12/7	0.0	2021/12/7	20.5	2022/12/7	0.5
2019/12/8	0.0	2020/12/8	8.5	2021/12/8	10.0	2022/12/8	3.0
2019/12/9	0.0	2020/12/9	3.5	2021/12/9	0.0	2022/12/9	1.0
2019/12/10	0.0	2020/12/10	3.0	2021/12/10	0.0	2022/12/10	0.0
2019/12/11	0.0	2020/12/11	0.0	2021/12/11	0.0	2022/12/11	4.5
2019/12/12	15.0	2020/12/12	9.5	2021/12/12	9.0	2022/12/12	0.0
2019/12/13	1.5	2020/12/13	10.0	2021/12/13	8.0	2022/12/13	2.5
2019/12/14	17.0	2020/12/14	52.5	2021/12/14	0.0	2022/12/14	5.0
2019/12/15	0.5	2020/12/15	51.0	2021/12/15	0.0	2022/12/15	4.5
2019/12/16	0.0	2020/12/16	86.0	2021/12/16	5.5	2022/12/16	17.0
2019/12/17	6.0	2020/12/17	20.5	2021/12/17	54.5	2022/12/17	14.5
2019/12/18	15.0	2020/12/18	4.5	2021/12/18	21.5	2022/12/18	4.0
2019/12/19	0.0	2020/12/19	39.5	2021/12/19	6.5	2022/12/19	1.0
2019/12/20	4.0	2020/12/20	9.5	2021/12/20	4.5	2022/12/20	0.5
2019/12/21	0.0	2020/12/21	30.5	2021/12/21	0.0	2022/12/21	1.0
2019/12/22	0.5	2020/12/22	0.0	2021/12/22	3.5	2022/12/22	11.5
2019/12/23	6.5	2020/12/23	1.0	2021/12/23	0.0	2022/12/23	0.0
2019/12/24	1.5	2020/12/24	0.5	2021/12/24	0.0	2022/12/24	12.0
2019/12/25	0.0	2020/12/25	58.5	2021/12/25	20.5	2022/12/25	12.0
2019/12/26	6.5	2020/12/26	14.5	2021/12/26	22.0	2022/12/26	2.5
2019/12/27	18.0	2020/12/27	0.0	2021/12/27	35.0	2022/12/27	1.0
2019/12/28	0.0	2020/12/28	4.0	2021/12/28	7.0	2022/12/28	0.0
2019/12/29	0.0	2020/12/29	0.0	2021/12/29	0.0	2022/12/29	6.5
2019/12/30	3.5	2020/12/30	40.0	2021/12/30	15.5	2022/12/30	16.5
2019/12/31	2.5	2020/12/31	25.0	2021/12/31	23.0	2022/12/31	5.5
2020/1/1	3.0	2021/1/1	21.0	2022/1/1	5.5	2023/1/1	2.0
2020/1/2	23.5	2021/1/2	16.5	2022/1/2	17.0	2023/1/2	16.0
2020/1/3	0.5	2021/1/3	13.0	2022/1/3	14.0	2023/1/3	34.5
2020/1/4	13.0	2021/1/4	0.0	2022/1/4	10.0	2023/1/4	66.5
2020/1/5	1.5	2021/1/5	3.0	2022/1/5	0.5	2023/1/5	16.0
2020/1/6	0.0	2021/1/6	4.5	2022/1/6	7.0	2023/1/6	17.5
2020/1/7	8.0	2021/1/7	2.0	2022/1/7	1.0	2023/1/7	11.5
2020/1/8	10.5	2021/1/8	0.0	2022/1/8	0.0	2023/1/8	8.5
2020/1/9	4.0	2021/1/9	0.0	2022/1/9	0.0	2023/1/9	7.5
2020/1/10	2.0	2021/1/10	15.5	2022/1/10	0.0	2023/1/10	0.5
2020/1/11	0.0	2021/1/11	3.0	2022/1/11	15.5	2023/1/11	0.0
2020/1/12	2.0	2021/1/12	3.5	2022/1/12	2.5	2023/1/12	0.0
2020/1/13	5.0	2021/1/13	0.0	2022/1/13	16.0	2023/1/13	11.0
2020/1/14	0.0	2021/1/14	0.0	2022/1/14	4.5	2023/1/14	11.5
2020/1/15	6.0	2021/1/15	0.0	2022/1/15	0.0	2023/1/15	0.0
2020/1/16	2.0	2021/1/16	11.5	2022/1/16	2.0	2023/1/16	1.0
2020/1/17	1.5	2021/1/17	23.0	2022/1/17	24.5	2023/1/17	0.0
2020/1/18	0.0	2021/1/18	4.0	2022/1/18	9.0	2023/1/18	15.0
2020/1/19	0.0	2021/1/19	9.5	2022/1/19	21.5	2023/1/19	4.0
2020/1/20	0.5	2021/1/20	0.0	2022/1/20	5.5	2023/1/20	0.5
2020/1/21	7.5	2021/1/21	0.0	2022/1/21	0.5	2023/1/21	2.5
2020/1/22	1.0	2021/1/22	2.5	2022/1/22	0.0	2023/1/22	0.0
2020/1/23	11.0	2021/1/23	16.0	2022/1/23	4.0	2023/1/23	1.5
2020/1/24	0.0	2021/1/24	11.0	2022/1/24	0.0	2023/1/24	15.5
2020/1/25	0.0	2021/1/25	0.0	2022/1/25	0.0	2023/1/25	8.0
2020/1/26	0.0	2021/1/26	1.5	2022/1/26	1.5	2023/1/26	0.0
2020/1/27	3.5	2021/1/27	10.5	2022/1/27	0.5	2023/1/27	1.0
2020/1/28	6.5	2021/1/28	4.0	2022/1/28	0.0	2023/1/28	33.5
2020/1/29	14.5	2021/1/29	11	2022/1/29	8	2023/1/29	18.5
2020/1/30	46.5	2021/1/30	4.5	2022/1/30	1	2023/1/30	9.5
2020/1/31	15.0	2021/1/31	1.5	2022/1/31	5	2023/1/31	0.5
2020/2/1	0.5	2021/2/1	8	2022/2/1	3.5	2023/2/1	2.5
2020/2/2	0.0	2021/2/2	24	2022/2/2	5	2023/2/2	0.5
2020/2/3	3.0	2021/2/3	16.5	2022/2/3	1.5	2023/2/3	0
2020/2/4	0.0	2021/2/4	8	2022/2/4	10	2023/2/4	3.5
2020/2/5	7.0	2021/2/5	6	2022/2/5	32.5	2023/2/5	1
2020/2/6	4.5	2021/2/6	0.5	2022/2/6	35	2023/2/6	0
2020/2/7	0.0	2021/2/7	1.5	2022/2/7	4	2023/2/7	0
2020/2/8	10.5	2021/2/8	7.5	2022/2/8	1.5	2023/2/8	5
2020/2/9	1.0	2021/2/9	9	2022/2/9	0	2023/2/9	0
2020/2/10	9.0	2021/2/10	1.5	2022/2/10	0	2023/2/10	17
2020/2/11	0.0	2021/2/11	4	2022/2/11	0	2023/2/11	0
2020/2/12	5.0	2021/2/12	0	2022/2/12	0	2023/2/12	0
2020/2/13	2.5	2021/2/13	0	2022/2/13	0	2023/2/13	2
2020/2/14	0.0	2021/2/14	0.5	2022/2/14	0	2023/2/14	3
2020/2/15	0.0	2021/2/15	49	2022/2/15	18	2023/2/15	0.5
2020/2/16	36.0	2021/2/16	5	2022/2/16	0	2023/2/16	0
2020/2/17	5.5	2021/2/17	6.5	2022/2/17	14	2023/2/17	0
2020/2/18	20.0	2021/2/18	23.5	2022/2/18	3	2023/2/18	2
2020/2/19	0.0	2021/2/19	0.5	2022/2/19	8.5	2023/2/19	23.5
2020/2/20	1.0	2021/2/20	0	2022/2/20	15.5	2023/2/20	9
2020/2/21	0.0	2021/2/21	0	2022/2/21	9.5	2023/2/21	2
2020/2/22	3.0	2021/2/22	0	2022/2/22	28	2023/2/22	0
2020/2/23	2.0	2021/2/23	2	2022/2/23	12.5	2023/2/23	2
2020/2/24	0.0	2021/2/24	0	2022/2/24	18	2023/2/24	3
2020/2/25	7.5	2021/2/25	0	2022/2/25	0.5	2023/2/25	0.5
2020/2/26	2.0	2021/2/26	0.5	2022/2/26	0	2023/2/26	0.5
2020/2/27	3.5	2021/2/27	0	2022/2/27	1.5	2023/2/27	0
2020/2/28	0.0	2021/2/28	0	2022/2/28	0	2023/2/28	0
2020/2/29	2.5						

3 月、4 月の日合計降水量は、次ページに続く

2020年度 3月-4月	降水量(mm) (日合計)
2020/3/1	0.0
2020/3/2	0.0
2020/3/3	0.5
2020/3/4	8.5
2020/3/5	14.5
2020/3/6	0.0
2020/3/7	1.0
2020/3/8	12.5
2020/3/9	0.0
2020/3/10	7.0
2020/3/11	12.5
2020/3/12	0.5
2020/3/13	0.0
2020/3/14	1.0
2020/3/15	1.5
2020/3/16	7.0
2020/3/17	1.0
2020/3/18	8.5
2020/3/19	0.0
2020/3/20	1.0
2020/3/21	0.0
2020/3/22	2.0
2020/3/23	0.0
2020/3/24	0.0
2020/3/25	0.0
2020/3/26	0.0
2020/3/27	11.5
2020/3/28	18.0
2020/3/29	4.0
2020/3/30	0.0
2020/3/31	0.0
2020/4/1	41.5
2020/4/2	6.5
2020/4/3	0.0
2020/4/4	0.0
2020/4/5	0.0
2020/4/6	0.0
2020/4/7	0.0
2020/4/8	0.0
2020/4/9	0.0
2020/4/10	0.5
2020/4/11	0.0
2020/4/12	10.5
2020/4/13	32.0
2020/4/14	1.0
2020/4/15	0.0
2020/4/16	0.0
2020/4/17	0.0
2020/4/18	20.5
2020/4/19	7.0
2020/4/20	10.5
2020/4/21	0.5
2020/4/22	3.0
2020/4/23	10.0
2020/4/24	10.0
2020/4/25	0.0
2020/4/26	5.5
2020/4/27	0.0
2020/4/28	0.5
2020/4/29	0.0
2020/4/30	0.0

2021年度 3月-4月	降水量(mm) (日合計)
2021/3/1	0.0
2021/3/2	39.5
2021/3/3	0.0
2021/3/4	0.0
2021/3/5	6.0
2021/3/6	1.0
2021/3/7	0.0
2021/3/8	0.0
2021/3/9	0.0
2021/3/10	0.0
2021/3/11	0.0
2021/3/12	1.5
2021/3/13	30.0
2021/3/14	0.0
2021/3/15	0.0
2021/3/16	2.0
2021/3/17	0.0
2021/3/18	0.0
2021/3/19	0.0
2021/3/20	5.5
2021/3/21	26.0
2021/3/22	6.0
2021/3/23	0.0
2021/3/24	0.0
2021/3/25	2.5
2021/3/26	0.0
2021/3/27	0.0
2021/3/28	19.0
2021/3/29	0.0
2021/3/30	0.0
2021/3/31	0.0
2021/4/1	0.0
2021/4/2	0.0
2021/4/3	0.0
2021/4/4	29.5
2021/4/5	0.5
2021/4/6	0.0
2021/4/7	0.0
2021/4/8	0.0
2021/4/9	0.0
2021/4/10	0.0
2021/4/11	0.0
2021/4/12	0.0
2021/4/13	5.5
2021/4/14	6.5
2021/4/15	0.0
2021/4/16	0.0
2021/4/17	33.0
2021/4/18	6.5
2021/4/19	0.0
2021/4/20	0.0
2021/4/21	0.0
2021/4/22	0.0
2021/4/23	0.0
2021/4/24	0.0
2021/4/25	0.0
2021/4/26	0.0
2021/4/27	0.0
2021/4/28	10.0
2021/4/29	54.0
2021/4/30	4.5

2022年度 3月-4月	降水量(mm) (日合計)
2022/3/1	4.5
2022/3/2	1.5
2022/3/3	0.0
2022/3/4	0.0
2022/3/5	1.0
2022/3/6	1.0
2022/3/7	0.0
2022/3/8	0.0
2022/3/9	0.0
2022/3/10	0.0
2022/3/11	0.0
2022/3/12	0.0
2022/3/13	0.0
2022/3/14	11.5
2022/3/15	1.0
2022/3/16	0.0
2022/3/17	0.0
2022/3/18	34.5
2022/3/19	11.5
2022/3/20	0.0
2022/3/21	0.0
2022/3/22	8.0
2022/3/23	2.5
2022/3/24	1.5
2022/3/25	0.0
2022/3/26	11.0
2022/3/27	1.0
2022/3/28	0.0
2022/3/29	0.0
2022/3/30	0.0
2022/3/31	3.0
2022/4/1	0.0
2022/4/2	0.0
2022/4/3	0.0
2022/4/4	0.0
2022/4/5	0.0
2022/4/6	0.0
2022/4/7	1.0
2022/4/8	0.0
2022/4/9	0.0
2022/4/10	0.0
2022/4/11	0.0
2022/4/12	0.0
2022/4/13	0.0
2022/4/14	12.0
2022/4/15	12.0
2022/4/16	0.5
2022/4/17	0.0
2022/4/18	0.0
2022/4/19	0.0
2022/4/20	0.0
2022/4/21	2.5
2022/4/22	0.0
2022/4/23	0.0
2022/4/24	0.0
2022/4/25	0.0
2022/4/26	8.5
2022/4/27	14.5
2022/4/28	0.0
2022/4/29	28.5
2022/4/30	0.0

2023年度 3月-4月	降水量(mm) (日合計)
2023/3/1	8.5
2023/3/2	13.5
2023/3/3	0.0
2023/3/4	0.0
2023/3/5	0.0
2023/3/6	0.0
2023/3/7	0.0
2023/3/8	0.0
2023/3/9	0.0
2023/3/10	0.5
2023/3/11	0.0
2023/3/12	0.0
2023/3/13	27.0
2023/3/14	0.0
2023/3/15	0.0
2023/3/16	2.5
2023/3/17	0.0
2023/3/18	13.5
2023/3/19	0.0
2023/3/20	0.0
2023/3/21	2.0
2023/3/22	0.0
2023/3/23	2.5
2023/3/24	16.5
2023/3/25	2.0
2023/3/26	20.0
2023/3/27	0.5
2023/3/28	0.0
2023/3/29	0.0
2023/3/30	0.0
2023/3/31	0.0
2023/4/1	0.0
2023/4/2	0.0
2023/4/3	0.0
2023/4/4	0.0
2023/4/5	0.0
2023/4/6	2.0
2023/4/7	38.0
2023/4/8	5.0
2023/4/9	0.0
2023/4/10	0.0
2023/4/11	0.0
2023/4/12	2.5
2023/4/13	0.0
2023/4/14	0.0
2023/4/15	14.5
2023/4/16	8.0
2023/4/17	5.0
2023/4/18	4.0
2023/4/19	0.0
2023/4/20	0.0
2023/4/21	0.0
2023/4/22	0.0
2023/4/23	0.0
2023/4/24	0.0
2023/4/25	4.5
2023/4/26	36.5
2023/4/27	0.0
2023/4/28	0.0
2023/4/29	2.0
2023/4/30	29.0

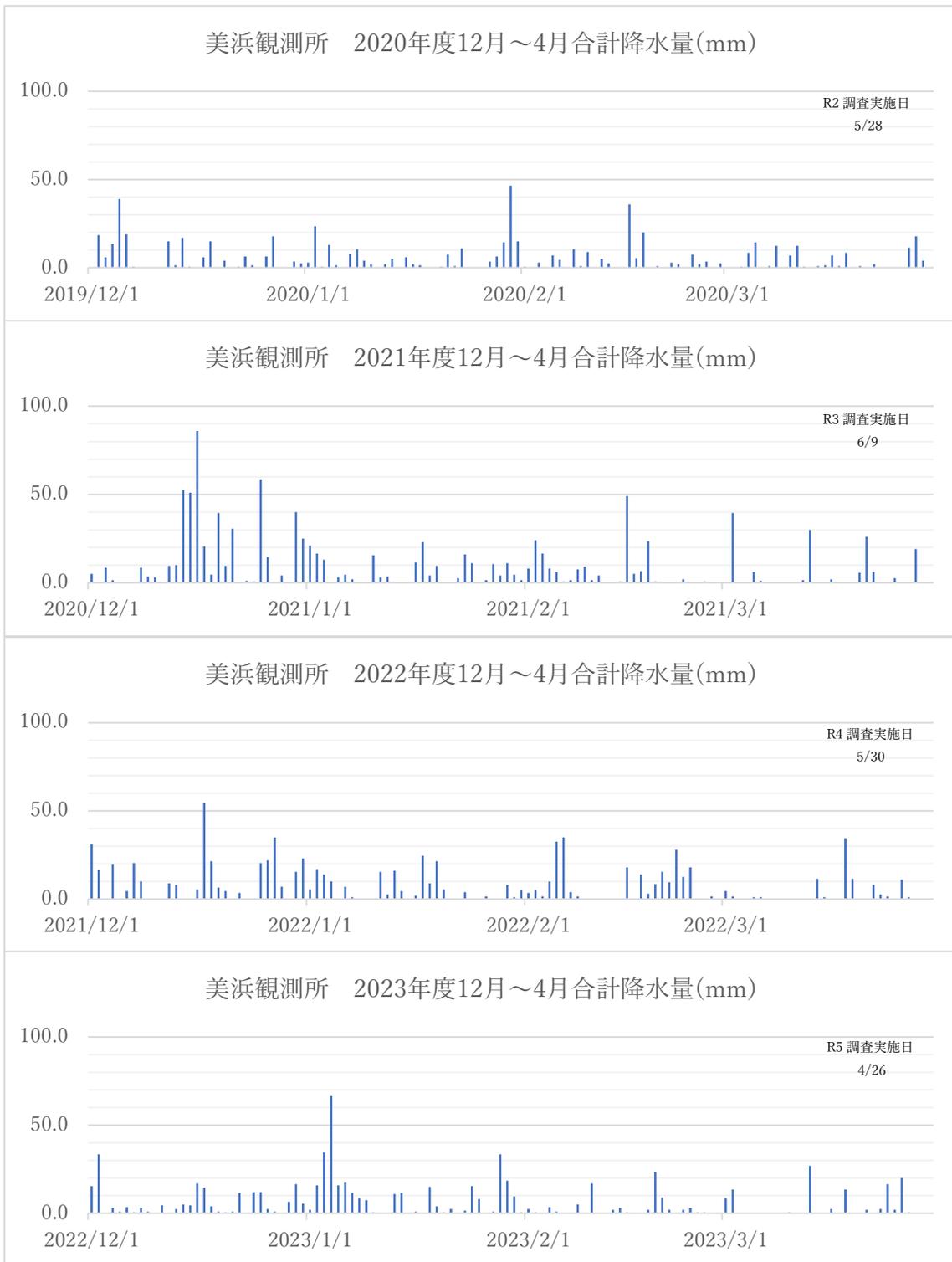


図 3.3-1 過去 3 年間（2020 年度～2023 年度）12 月～4 月における  
美浜観測所の日合計降水量

（参照：気象庁 HP 「過去の気象データ」 <https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/>）

表 3.3-2 過去4年間（2020年度～2023年度）12月～4月における  
美浜観測所の日平均風速と日最多風向

（参照：気象庁HP「過去の気象データ」<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/>）

2020年度 12月～2月	平均風速 (m/s)	最多風向 (16方位)	2021年度 12月～2月	平均風速 (m/s)	最多風向 (16方位)	2022年度 12月～2月	平均風速 (m/s)	最多風向 (16方位)	2023年度 12月～2月	平均風速 (m/s)	最多風向 (16方位)
2019/12/1	1.4	南南西	2020/12/1	1.3	南西	2021/12/1	4.8	西南西	2022/12/1	3.5	西北西
2019/12/2	4.1	西	2020/12/2	1.2	南西	2021/12/2	1.8	南西	2022/12/2	2.4	南西
2019/12/3	3.6	西北西	2020/12/3	3.2	北西	2021/12/3	1.8	南西	2022/12/3	1.0	南南西
2019/12/4	2.7	南西	2020/12/4	2.5	北北東	2021/12/4	3.9	西南西	2022/12/4	2.3	北北西
2019/12/5	2.9	南西	2020/12/5	1.9	南南西	2021/12/5	2.9	北東	2022/12/5	2.4	南西
2019/12/6	2.5	南西	2020/12/6	1.1	南南西	2021/12/6	0.9	南西	2022/12/6	3.1	南西
2019/12/7	1.5	南西	2020/12/7	1.3	南南西	2021/12/7	2.3	南南西	2022/12/7	2.4	南西
2019/12/8	2.5	北	2020/12/8	2.3	南西	2021/12/8	5.5	北北西	2022/12/8	2.9	南西
2019/12/9	1.2	南西	2020/12/9	1.0	南西	2021/12/9	1.5	南南西	2022/12/9	1.1	南南西
2019/12/10	1.1	南南西	2020/12/10	1.0	南西	2021/12/10	1.2	南西	2022/12/10	1.2	南南西
2019/12/11	1.1	南南西	2020/12/11	1.2	南南西	2021/12/11	1.1	南南西	2022/12/11	2.5	南西
2019/12/12	3.7	西北西	2020/12/12	2.3	南南西	2021/12/12	2.9	西南西	2022/12/12	2.4	北東
2019/12/13	1.4	南西	2020/12/13	2.7	南西	2021/12/13	3.9	北北西	2022/12/13	2.4	南西
2019/12/14	3.3	南西	2020/12/14	3.2	西	2021/12/14	1.0	南南西	2022/12/14	4.7	西
2019/12/15	3.3	北北東	2020/12/15	4.7	西南西	2021/12/15	1.4	南西	2022/12/15	3.4	南西
2019/12/16	1.1	南南西	2020/12/16	4.2	西南西	2021/12/16	1.1	南西	2022/12/16	2.0	南西
2019/12/17	1.1	南南西	2020/12/17	4.4	北西	2021/12/17	4.3	西	2022/12/17	1.9	南西
2019/12/18	3.5	北	2020/12/18	2.1	南西	2021/12/18	4.3	北西	2022/12/18	5.6	西
2019/12/19	1.6	南西	2020/12/19	3.7	北北西	2021/12/19	2.8	南西	2022/12/19	4.0	南西
2019/12/20	3.0	北西	2020/12/20	3.2	南西	2021/12/20	1.8	南西	2022/12/20	2.5	南西
2019/12/21	1.3	南西	2020/12/21	1.2	南南西	2021/12/21	1.4	南西	2022/12/21	2.3	南南東
2019/12/22	1.1	南南西	2020/12/22	1.4	南西	2021/12/22	3.6	北北東	2022/12/22	2.9	南西
2019/12/23	1.7	南西	2020/12/23	1.1	南南西	2021/12/23	1.5	南西	2022/12/23	4.4	南西
2019/12/24	1.4	南南西	2020/12/24	1.4	南西	2021/12/24	1.4	南西	2022/12/24	5.2	北西
2019/12/25	1.1	南南西	2020/12/25	4.2	西	2021/12/25	4.1	北北東	2022/12/25	4.8	北北西
2019/12/26	1.0	南西	2020/12/26	2.7	南西	2021/12/26	5.0	北西	2022/12/26	5.2	北北西
2019/12/27	5.8	北北西	2020/12/27	1.1	南南西	2021/12/27	4.0	西南西	2022/12/27	2.8	北西
2019/12/28	2.3	南西	2020/12/28	1.0	南南西	2021/12/28	3.3	北	2022/12/28	1.4	南西
2019/12/29	1.0	南南西	2020/12/29	1.1	南南西	2021/12/29	1.7	南西	2022/12/29	3.7	西南西
2019/12/30	1.4	南東	2020/12/30	5.1	北	2021/12/30	4.4	西南西	2022/12/30	2.7	西
2019/12/31	4.8	北北西	2020/12/31	4.8	南西	2021/12/31	5.4	北北西	2022/12/31	2.0	南西
2020/1/1	2.6	南西	2021/1/1	3.2	南西	2022/1/1	4.1	北北西	2023/1/1	2.9	南西
2020/1/2	1.4	南西	2021/1/2	2.8	南西	2022/1/2	2.1	南西	2023/1/2	2.5	南西
2020/1/3	3.0	南西	2021/1/3	2.7	南西	2022/1/3	1.9	南西	2023/1/3	1.9	南西
2020/1/4	2.7	南西	2021/1/4	2.0	南西	2022/1/4	4.7	北	2023/1/4	1.7	西南西
2020/1/5	5.5	北	2021/1/5	2.0	南南西	2022/1/5	3.7	北東	2023/1/5	1.2	南西
2020/1/6	2.0	東南東	2021/1/6	3.0	南西	2022/1/6	1.4	南南西	2023/1/6	1.4	南西
2020/1/7	1.0	南西	2021/1/7	4.5	南西	2022/1/7	4.9	北	2023/1/7	1.1	南西
2020/1/8	4.9	西	2021/1/8	4.5	南西	2022/1/8	1.3	南西	2023/1/8	1.5	南西
2020/1/9	3.3	北西	2021/1/9	3.5	南西	2022/1/9	2.1	南西	2023/1/9	2.0	南
2020/1/10	2.8	北北西	2021/1/10	2.3	南西	2022/1/10	1.7	南南西	2023/1/10	4.9	北北西
2020/1/11	1.5	南南西	2021/1/11	1.9	南西	2022/1/11	2.9	西	2023/1/11	1.1	南南西
2020/1/12	1.3	南南西	2021/1/12	1.2	南西	2022/1/12	5.6	北西	2023/1/12	0.8	南南西
2020/1/13	2.5	南西	2021/1/13	1.2	南西	2022/1/13	4.5	西南西	2023/1/13	1.4	南南西
2020/1/14	0.9	南西	2021/1/14	2.3	南西	2022/1/14	5.6	北西	2023/1/14	1.5	南西
2020/1/15	2.4	南西	2021/1/15	1.1	南	2022/1/15	2.3	北	2023/1/15	1.7	北
2020/1/16	1.4	南西	2021/1/16	2.7	南西	2022/1/16	1.7	南西	2023/1/16	4.0	北北東
2020/1/17	0.8	南南西	2021/1/17	3.0	南西	2022/1/17	3.9	西	2023/1/17	2.5	北東
2020/1/18	3.5	北東	2021/1/18	2.6	南西	2022/1/18	5.2	北北西	2023/1/18	1.8	南
2020/1/19	1.2	南西	2021/1/19	5.1	北北西	2022/1/19	1.3	南西	2023/1/19	1.4	南西
2020/1/20	2.9	西	2021/1/20	2.2	北東	2022/1/20	4.6	北	2023/1/20	3.3	南南西
2020/1/21	3.9	北北東	2021/1/21	1.1	南西	2022/1/21	5.3	北	2023/1/21	3.6	北
2020/1/22	1.3	南南西	2021/1/22	0.7	南南西	2022/1/22	1.2	北東	2023/1/22	1.1	南南西
2020/1/23	0.9	南西	2021/1/23	0.7	南西	2022/1/23	1.0	南西	2023/1/23	1.1	南南西
2020/1/24	3.1	北北東	2021/1/24	0.8	南西	2022/1/24	4.3	北北東	2023/1/24	5.4	西南西
2020/1/25	2.1	北東	2021/1/25	1.6	北北東	2022/1/25	1.3	南南西	2023/1/25	5.4	北北西
2020/1/26	1.2	北北東	2021/1/26	3.4	南南東	2022/1/26	2.6	南西	2023/1/26	2.2	南西
2020/1/27	1.2	東	2021/1/27	3.9	北北西	2022/1/27	2.7	北北東	2023/1/27	2.5	南西
2020/1/28	2.0	南東	2021/1/28	1.4	南西	2022/1/28	1.2	南西	2023/1/28	3.2	西南西
2020/1/29	2.7	西	2021/1/29	6.3	西	2022/1/29	2	南西	2023/1/29	1.6	南西
2020/1/30	3.2	南西	2021/1/30	3.6	南西	2022/1/30	1.8	西	2023/1/30	3.5	南西
2020/1/31	5	北北西	2021/1/31	2.7	北北西	2022/1/31	1.5	北北西	2023/1/31	1.7	南西
2020/2/1	3.9	北西	2021/2/1	1.8	東南東	2022/2/1	2.9	南西	2023/2/1	1.9	南西
2020/2/2	1.1	南西	2021/2/2	3.8	西南西	2022/2/2	2.8	南西	2023/2/2	3.9	北東
2020/2/3	2.8	西北西	2021/2/3	3.7	西	2022/2/3	3	北西	2023/2/3	1.2	南西
2020/2/4	2.2	北北東	2021/2/4	3.4	南西	2022/2/4	3.3	西南西	2023/2/4	2.1	南西
2020/2/5	4.1	南西	2021/2/5	1.8	南南西	2022/2/5	4.6	西南西	2023/2/5	1.5	南南西
2020/2/6	5.1	北	2021/2/6	1.2	南	2022/2/6	4.1	北西	2023/2/6	1.1	南南西
2020/2/7	1.1	南西	2021/2/7	2.2	南西	2022/2/7	1.3	南西	2023/2/7	1	南南西
2020/2/8	2.8	北北西	2021/2/8	4	北	2022/2/8	1	南南西	2023/2/8	2.6	北東
2020/2/9	4.5	北北西	2021/2/9	3.3	南西	2022/2/9	1.3	南南西	2023/2/9	3.3	北北東
2020/2/10	3.3	北北西	2021/2/10	2	西南西	2022/2/10	1.8	南南西	2023/2/10	1.3	南南西
2020/2/11	3.1	北北西	2021/2/11	2.3	北北西	2022/2/11	1.6	北北西	2023/2/11	2.7	北北東
2020/2/12	2.1	南西	2021/2/12	1.1	南南西	2022/2/12	1.2	南南西	2023/2/12	1.2	南西
2020/2/13	1.7	南南西	2021/2/13	1.4	南東	2022/2/13	1.2	南南西	2023/2/13	3	北北西
2020/2/14	0.9	南西	2021/2/14	2.2	南東	2022/2/14	2.5	北	2023/2/14	6	北北西
2020/2/15	1	南南西	2021/2/15	3	西	2022/2/15	2.3	南西	2023/2/15	5.4	北北西
2020/2/16	1.8	西北西	2021/2/16	4.4	西	2022/2/16	4.2	西南西	2023/2/16	2.3	北北東
2020/2/17	2.7	南南西	2021/2/17	4.9	西	2022/2/17	4.5	南西	2023/2/17	1.2	南南西
2020/2/18	3.9	北北西	2021/2/18	4.1	南西	2022/2/18	2.7	北	2023/2/18	1.1	南南西
2020/2/19	1.5	南西	2021/2/19	2.1	南西	2022/2/19	1.3	南南西	2023/2/19	2.4	北西
2020/2/20	1.6	南南西	2021/2/20	1.5	南南西	2022/2/20	4.6	西	2023/2/20	4.4	北
2020/2/21	1.2	南南西	2021/2/21	1.3	東南東	2022/2/21	4.8	北西	2023/2/21	5.4	北
2020/2/22	2.5	北西	2021/2/22	1.5	南南西	2022/2/22	3.7	南西	2023/2/22	2.3	北東
2020/2/23	4.2	北西	2021/2/23	4.9	北	2022/2/23	2.8	北北西	2023/2/23	1.2	南西
2020/2/24	1.6	南西	2021/2/24	3.8	北	2022/2/24	1.4	南西	2023/2/24	1.5	南西
2020/2/25	1.1	南西	2021/2/25	1.3	北北東	2022/2/25	1.4	南西	2023/2/25	5.1	北
2020/2/26	3.6	北北西	2021/2/26	2.1	北	2022/2/26	1.3	南南西	2023/2/26	4.9	北
2020/2/27	4.9	北北西	2021/2/27	3.9	北北東	2022/2/27	2.6	西南西	2023/2/27	2.2	北北東
2020/2/28	2.3	北北西	2021/2/28	1.9	南南東	2022/2/28	1.6	南西	2023/2/28	1.4	南西

3月、4月の日平均風速と日最多風向は、次ページに続く

2020年度 3月-4月	平均風速 (m/s)	最多風向 (16方位)
2020/3/1	2.1	南西
2020/3/2	2.6	西北西
2020/3/3	3.2	北北西
2020/3/4	0.9	南東
2020/3/5	5.4	北西
2020/3/6	3.3	北北西
2020/3/7	1.5	南南西
2020/3/8	1.6	北
2020/3/9	1.2	南南西
2020/3/10	2.5	南東
2020/3/11	3.7	北北西
2020/3/12	1.8	北
2020/3/13	1.1	北東
2020/3/14	2.5	北
2020/3/15	2.0	南南西
2020/3/16	4.5	北北西
2020/3/17	1.8	南南西
2020/3/18	1.7	南南西
2020/3/19	2.8	南東
2020/3/20	4.0	北西
2020/3/21	1.6	北北東
2020/3/22	2.4	北北西
2020/3/23	3.0	北北西
2020/3/24	4.6	北北西
2020/3/25	1.8	北
2020/3/26	1.4	南南西
2020/3/27	1.9	南南東
2020/3/28	2.8	北北西
2020/3/29	2.9	北北西
2020/3/30	1.1	南南西
2020/3/31	1.7	南南東
2020/4/1	3.0	北北西
2020/4/2	3.6	北北西
2020/4/3	1.3	南南西
2020/4/4	2.6	南南西
2020/4/5	4.0	北北西
2020/4/6	2.9	北北西
2020/4/7	1.5	南南西
2020/4/8	2.2	南南西
2020/4/9	2.2	北
2020/4/10	3.8	北北西
2020/4/11	1.6	北
2020/4/12	1.0	北
2020/4/13	3.1	北
2020/4/14	3.9	北北西
2020/4/15	1.3	南南西
2020/4/16	1.9	南南西
2020/4/17	2.9	南東
2020/4/18	4.3	南東
2020/4/19	3.1	北北西
2020/4/20	4.4	南東
2020/4/21	1.5	北
2020/4/22	3.6	北北西
2020/4/23	2.4	西南西
2020/4/24	2.0	南西
2020/4/25	2.1	南南西
2020/4/26	1.6	南南西
2020/4/27	2.2	北
2020/4/28	1.5	北
2020/4/29	1.4	北
2020/4/30	1.6	南南西

2021年度 3月-4月	平均風速 (m/s)	最多風向 (16方位)
2021/3/1	3.8	南南東
2021/3/2	6.4	北北西
2021/3/3	3.5	北
2021/3/4	2.0	南東
2021/3/5	1.4	南東
2021/3/6	4.0	北北西
2021/3/7	1.8	北西
2021/3/8	2.1	北北西
2021/3/9	1.0	北北東
2021/3/10	2.6	北北西
2021/3/11	1.4	南南西
2021/3/12	1.2	東南東
2021/3/13	3.8	北西
2021/3/14	3.2	北西
2021/3/15	2.0	北西
2021/3/16	1.3	南西
2021/3/17	2.6	北北西
2021/3/18	1.5	南西
2021/3/19	1.7	南西
2021/3/20	2.9	南東
2021/3/21	2.6	北北西
2021/3/22	3.3	北北西
2021/3/23	1.4	南南西
2021/3/24	1.5	南
2021/3/25	0.7	南南西
2021/3/26	2.4	南西
2021/3/27	2.1	東南東
2021/3/28	5.0	南東
2021/3/29	1.3	北北東
2021/3/30	1.3	南南西
2021/3/31	1.7	南西
2021/4/1	2.1	南南西
2021/4/2	2.3	南南東
2021/4/3	2.2	南東
2021/4/4	2.3	北西
2021/4/5	4.2	北北西
2021/4/6	1.5	南南西
2021/4/7	1.6	北
2021/4/8	1.4	北西
2021/4/9	3.9	北
2021/4/10	2.3	北北西
2021/4/11	1.5	北
2021/4/12	4.0	南東
2021/4/13	3.3	南南東
2021/4/14	3.1	北北西
2021/4/15	1.9	北西
2021/4/16	5.2	南東
2021/4/17	2.1	南南東
2021/4/18	4.3	西南西
2021/4/19	2.1	南南西
2021/4/20	1.5	南
2021/4/21	1.4	北北東
2021/4/22	1.9	南南西
2021/4/23	1.6	南南西
2021/4/24	1.5	南南西
2021/4/25	3.8	北北西
2021/4/26	3.9	北北西
2021/4/27	1.7	南東
2021/4/28	0.8	東南東
2021/4/29	1.1	北北西
2021/4/30	1.4	南南西

2022年度 3月-4月	平均風速 (m/s)	最多風向 (16方位)
2022/3/1	1.2	南南西
2022/3/2	1.4	南西
2022/3/3	2.5	北
2022/3/4	1.2	南南西
2022/3/5	3.0	北西
2022/3/6	5.5	北西
2022/3/7	3.3	北
2022/3/8	1.6	南南西
2022/3/9	1.2	南南西
2022/3/10	1.4	南南西
2022/3/11	1.3	南西
2022/3/12	1.1	南南西
2022/3/13	1.4	南南西
2022/3/14	1.0	南南西
2022/3/15	2.3	北西
2022/3/16	1.2	北北東
2022/3/17	1.7	北北西
2022/3/18	1.1	南西
2022/3/19	3.5	北北西
2022/3/20	2.1	南南西
2022/3/21	1.5	南西
2022/3/22	1.6	北北西
2022/3/23	1.3	南南東
2022/3/24	1.4	南南西
2022/3/25	2.0	南東
2022/3/26	6.7	南東
2022/3/27	2.7	北西
2022/3/28	3.5	北北西
2022/3/29	0.9	南南西
2022/3/30	1.0	北北東
2022/3/31	2.9	北
2022/4/1	5.4	北北東
2022/4/2	1.8	北
2022/4/3	1.3	南西
2022/4/4	2.1	北北西
2022/4/5	2.1	北西
2022/4/6	1.4	南南西
2022/4/7	1.2	北東
2022/4/8	2.3	北
2022/4/9	1.6	南南西
2022/4/10	1.2	南南西
2022/4/11	2.0	南東
2022/4/12	1.2	西南西
2022/4/13	1.2	北西
2022/4/14	1.3	南西
2022/4/15	2.5	北北西
2022/4/16	4.2	北北西
2022/4/17	1.5	南南西
2022/4/18	1.2	南南西
2022/4/19	1.7	北西
2022/4/20	1.3	北北東
2022/4/21	1.6	南東
2022/4/22	1.5	北
2022/4/23	0.8	北
2022/4/24	1.1	南南西
2022/4/25	1.3	北北東
2022/4/26	2.3	南南西
2022/4/27	2.0	北北西
2022/4/28	2.0	南西
2022/4/29	3.2	北
2022/4/30	3.0	北

2023年 4月-5月	平均風速 (m/s)	最多風向 (16方位)
2023/3/1	2.2	南西
2023/3/2	4.4	北北西
2023/3/3	2.0	北北西
2023/3/4	2.2	南南西
2023/3/5	1.4	西北西
2023/3/6	1.4	南東
2023/3/7	1.4	南南西
2023/3/8	1.1	南南西
2023/3/9	1.2	南南東
2023/3/10	1.4	北
2023/3/11	1.2	南南西
2023/3/12	3.4	南東
2023/3/13	3.3	西北西
2023/3/14	1.6	南南西
2023/3/15	2.0	南東
2023/3/16	1.7	西北西
2023/3/17	1.4	北西
2023/3/18	2.2	北北西
2023/3/19	1.4	南南西
2023/3/20	1.7	南南西
2023/3/21	0.8	南西
2023/3/22	1.9	南西
2023/3/23	2.7	南南東
2023/3/24	2.0	北西
2023/3/25	1.7	北北西
2023/3/26	1.8	北
2023/3/27	2.0	北西
2023/3/28	1.8	南南西
2023/3/29	1.7	南南西
2023/3/30	1.4	南南西
2023/3/31	1.2	南南西
2023/4/1	1.6	南西
2023/4/2	2.2	南西
2023/4/3	1.9	北西
2023/4/4	1.5	南南西
2023/4/5	3.0	南東
2023/4/6	4.1	南東
2023/4/7	1.7	南東
2023/4/8	3.3	北北西
2023/4/9	2.4	北北西
2023/4/10	1.5	南西
2023/4/11	2.4	南東
2023/4/12	1.4	北北西
2023/4/13	1.4	南南東
2023/4/14	1.3	南西
2023/4/15	2.0	南東
2023/4/16	2.5	北西
2023/4/17	2.2	北西
2023/4/18	1.3	南南西
2023/4/19	1.3	北北東
2023/4/20	1.2	南南西
2023/4/21	3.0	北北西
2023/4/22	5.3	北北東
2023/4/23	3.7	北北東
2023/4/24	3.5	北
2023/4/25	3.0	南南東
2023/4/26	3.2	北北西
2023/4/27	1.5	北
2023/4/28	2.1	南東
2023/4/29	3.8	南東
2023/4/30	2.0	北

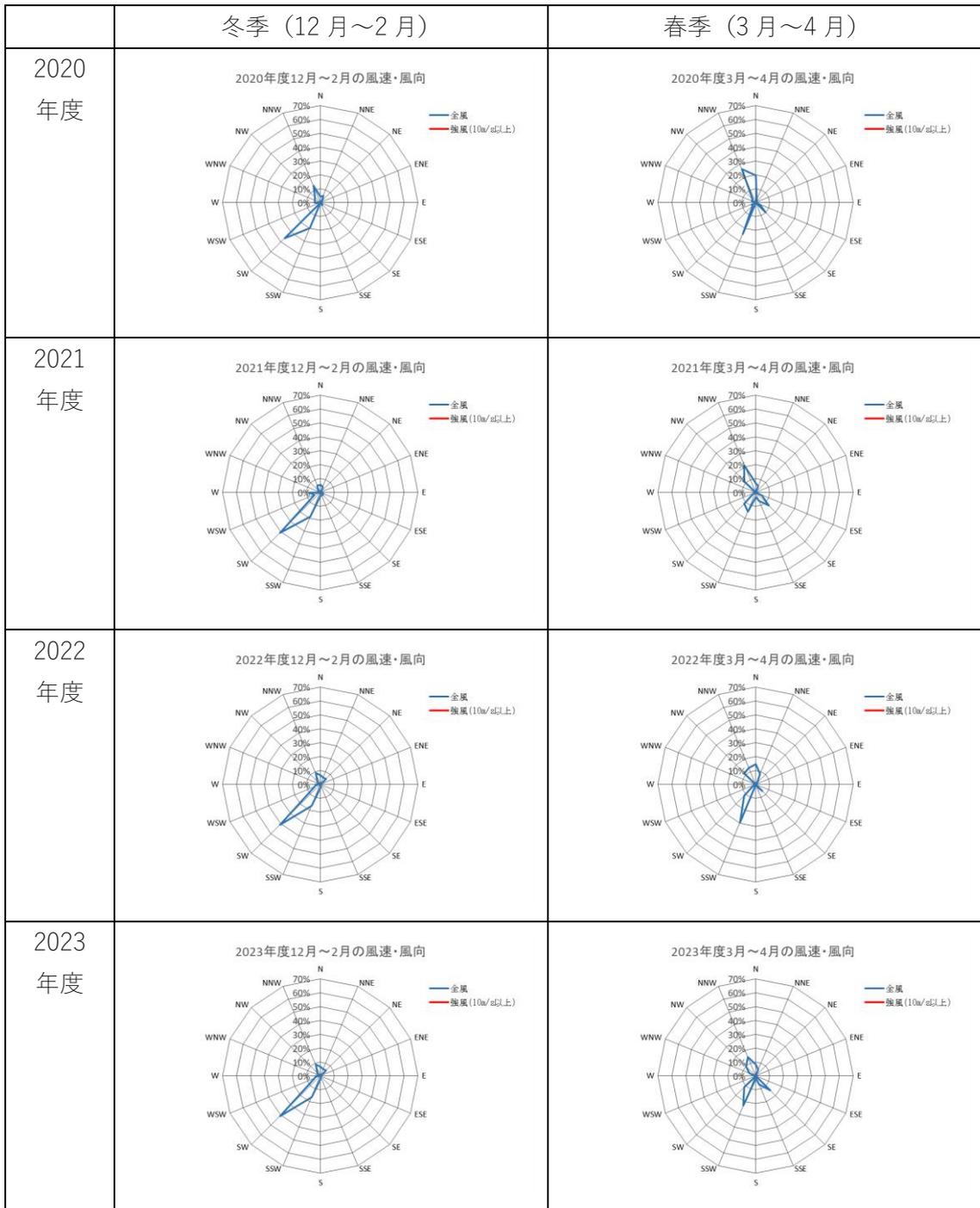


図 3.3-2 過去3年間(2020年～2023年)12月～4月における  
美浜観測所の日平均風速と日最大風向による風配図

(参照：気象庁HP「過去の気象データ」<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/>)

### 3.4 まとめ

令和2年度から令和5年度の4か年を通して見ると組成比は概ね同様の傾向であったが、令和5年度と令和4年度の漂着物の量では個数・容積・重量において約50~60%減少し、令和5年度と令和3年度の漂着物の量でも個数・容積・重量において約60~70%減少し、令和5年度と令和2年度の漂着物の量では個数・容積・重量において約0~79%増加がみられた(表3.1.1-1、表3.1.1-2、表3.1.1-3、図3.1.1)。

4か年のごみ量は、令和2年度が最も少なく、令和3年度で最も多くなり、令和3年度以降は減少傾向がみられる(図3.1.1)。

ごみ量の増減について検討するため、令和2年度から令和5年度の4か年の降雨、風向、風量を確認したところ大きな変化はなく、各年度で同様の傾向がみられた(図3.3-1、図3.3-2)。また、ヒアリング結果によると、特に冬季から春季にかけて海が荒れた際に起こる高い波の影響によりごみの漂着、再漂流が起こっているとのことから、冬季から春季に漂着するごみ量が変化していると推察される。

今後の継続的調査により水晶浜海水浴場における漂着物の組成や量の傾向が明らかとなることで、さらなる実態の把握が可能になるものと思われる。